

男はつらいよ

寅さんの

山田洋次 作
朝間義隆 編
寅さん倶楽部

人生語録

改

山田洋次



9784569769790

ISBN978-4-569-76979-0

C0112 ¥740E



1920112007409

定価：本体740円(税別)

男はつらいよ 寅さんの人生語録 改

山田洋次・朝間義隆 作／寅さん倶楽部 編

日本人の心を描いた国民的映画「男はつらいよ」シリーズ。1作目の公開から50周年を迎えた今もなお、人気は衰えることを知りません。本書は、「男が女に惚れるのに、歳なんかあるかい」「男ってものはな、引き際が肝心よ」など、寅さんの名言・名セリフを一挙公開。妹さくらをはじめ魅力的な出演者たちの語録も掲載し、映画が100倍楽しめる1冊！『男はつらいよ 寅さんの人生語録』を改題し再編集。



01 杉並区立中央図書館
☎ 3391-5754



0150191138

男はつらいよ 寅さんの人生語録 改

山田洋次・朝間義隆 作
寅さん倶楽部 編



PHP 文庫

ほら、いい女がいたとするだろう。なあ？

男がそれを見て、ああ、いい女だなあ、

この女を俺は、大事にしてえ

——そう思うだろう、

それが愛っていうもんじゃねえか。

④柴又より愛をこめて

はじめに

寅さんシリーズを一本も見たことがない人がこの本を読んでも、面白くもおかしくもない、陳腐なセリフの羅列でしかないだろう。

これらの活字が、寅さんの声で、さくらや博や御前様、タコ社長のセリフまわして生き生きと語られるのをイメージする時、はじめてこの本は楽しい読み物になるはずだ。

団子屋の裏手にある印刷工場で働く若い工員たちに、渥美清の寅さんが親愛の情をこめて、
「労働者諸君！」

と呼びかける時、あるいは甥の寅さんの愚行を眺めながら、森川信のおいちゃんが思わず、

「馬鹿だねえ」

○本表紙図柄Ⅱロゼッタ・ストーン（大英博物館蔵）
○本表紙デザイン＋紋章Ⅱ上田晃郷

と溜息まじりに呟く時、観客席は爆笑に包まれる。

その言葉が何故おかしいかについては、とてもひと言やふた言では説明しかねるが、とも角、きわめて多くの、しかも複雑な内容が、その短い言葉で瞬間に観客に伝わることの、大きな満足感が笑いとなるのだ、といったようなことを遠藤周作さんにお聞きしたことがある。

もちろん、誰がしゃべってもいいというわけではない。大会社の社長が「労働者諸君」と叫んで労働者が喜ぶわけがない。渥美清が口にする時、はじめてこの言葉は深い奥行きとニュアンスを獲得するのだ。

ところで、この「労働者諸君」にしても「馬鹿だねえ」にしても、私が脚本に書いたのではない。渥美さんや森川さんが撮影現場でふと口にしたアドリブである。御前様が寅さんの後姿を眺めながら「困った」と熊本訛りで呟くのも笠智衆さんのアドリブである。

名優は、脚本家が及びもつかぬような素敵なセリフを現場で吐くものだ。長い年月をかけて民衆の暮しの中で練りぬかれてきた、味のある言

葉について、名優は敏感なのだろう。

ついでに言うなら、「四ツ谷赤坂麴町チャラチャラ流れるお茶の水粹な姐ちゃん立ちシヨンベン——」で知られる寅さんのタンカバイの文句も、渥美清さんが少年時代に実際に大道で商売をしている香具師から素晴らしい記憶力で聞きおぼえていたものを、ただ私たちが書き写しただけのことである。

山田洋次

目次



はじめに

3

私、生まれも育ちも葛飾柴又です

13

恥ずかしき事の数々

29

それが愛ってもんじゃないかい

43

貪しいねえ、君たちは

73

また夢かア

93

ケッコー毛だらけ猫灰だらけ

109

渡世人のつれエところよ

129

労働者諸君！

151

さしづめインテリだな

169

それを言ったらおしまいだよ

189

いいか、世の中ってのはなア

205

ふーん、そんなもんかね

229

達者でな、あばよ

255



桜が咲いております。
懐かしい葛飾の桜が、今年も咲いております。

思い起こせば二十年前、つまりねえことで親爺とおおげんか、頭を血の出るほどブン殴られて、そのまんまブイッと家をおん出てもう一生帰らねえ覚悟でおりましたものの、花の咲く頃になると、きまっで思いつくのは故郷のこと、……ガキの時分、鼻っ垂れ仲間を相手にあばれ廻った水元公園や江戸川の土堤や、帝釈様の境内のこととございました。

風の便りに両親も秀才の兄貴も死んじまって、今はたった一人の妹だけが生きていることは知っておりましたが、どうしても帰る気になれず、今日の今日まで、こうしてご無沙汰に打過ぎてしまいました。今こうして江戸川の土堤に立って、生まれ故郷を眺めておりますと、何やらこの胸の奥がポッポと火照って来るような気がいたします。

そうです、私の故郷と申しますのは、東京、葛飾の柴又でございます。

男はつらいよ

作詞：星野哲郎 作曲：山本直純 唄：渥美清

私生まれも育ちも葛飾柴又です

帝釈天でうぶ湯を使い

姓は車 名は寅次郎

人呼んで フーテンの寅と発します

俺がいたんじゃお嫁にゃ行けぬ わかっちゃいるんだ 妹よ

いつかおまえのよろこぶような 偉い兄貴になりたくて

奮闘努力の甲斐も無く 今日も涙の

今日も涙の日は落ちる 日が落ちる

ドブに落ちてても根のある奴は いつかは蓮はすの花と咲く

意地は張っても心の中じゃ 泣いているんだ 兄さんは

目方で男が売れるなら こんな苦勞も

こんな苦勞もかけまいに かけまいに

男とゆうものつらいもの 顔で笑って

顔で笑って腹で泣く 腹で泣く

とかく西に行きましても

東に行きましても

土地土地のお兄貴さんお姐さんに

ごやかいかけがちな若造です

以後見苦しき面体 お見知りおかれまして

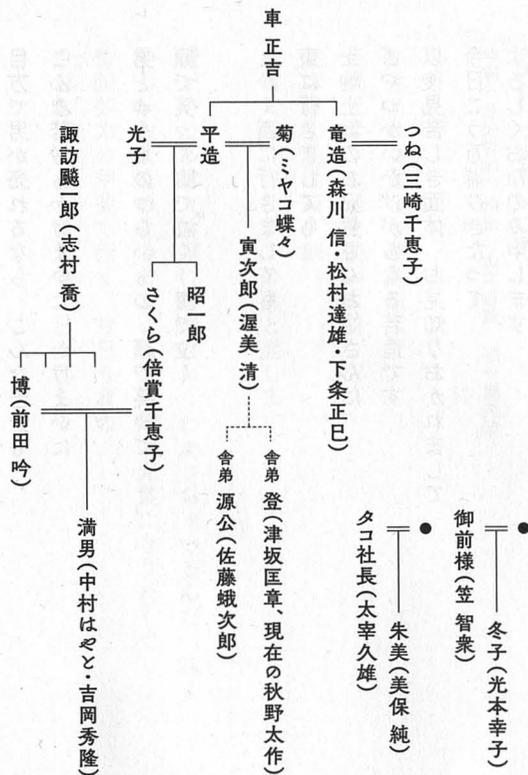
今日こう万端ひきたって

よろしくおたのみ申します

私、生まれも育ちも
葛飾柴又です



寅さん関係略図



さあ、ものの始まりが一ならば、国の始まりが、大和の国、島の始まりは淡路島。ねえ、バクチ打ちの始まりは熊坂の長範、どう。赤い赤いはなに見てわかる、赤いもの見て迷わぬものは、木仏が金仏、石仏だ、千里旅する汽車でさえ、赤い旗見てチョイと停まると言うやつ。どうです、ねえ、続いた数字が二つ、ねえ、どう。兄さん寄ってらっしゃいは、吉原のカブ、仁吉が通る東海道、憎まれ小僧、世にハバカル、なあ、仁木弾正、お芝居の上での憎まれ役、と言うの、続いた数字が三つ、ほら、三、三、六歩で引け目がない。三で死んだが三島のおせん、おせんばかりが女子じゃないよ、京都は極楽寺坂の門前で三日三晩飲まずに食わずに野たれ死んだのが三十三……続いた数字が四つ、四ツ谷赤坂麴町、チャラチャラ流れるお茶の水、粹な姐ちゃん立ちシヨンベン……。

(14) 寅次郎子守唄

いつ頃でしようか……

風に誘われるとでも申しませうか、

ある日、フラッと出ていくんです。

貴子(池内淳子)に次はいつ旅に出るのかと問われて



⑧ 寅次郎恋歌

おい、こら、お前、誰に聞いているんだ。
恋をしたことがありますか？ よく言うよ、お前、
俺から恋を取ってしまったら何が残るんだ。
三度三度飯を食って屁をこいて糞をたれる機械、
つまりは造糞器だよ。
なあ、おいちゃん。

③花も風も寅次郎



今度はいつ帰るの。
桜の咲くころ、
それとも若葉のころ。
みんなで首を長くして待ってるわ。

④寅次郎心の旅路

さくらからの手紙



「……えーと、本人の勤務先は、つまりその、何と言いますか……せ、セールスでございます。はい、ええ、……いえいえあの、確か出版関係のほうじゃないかと。はいはい、へ？ 学歴？ ……柴又尋常じんぎょう小学校を卒業いたしましたね、それから葛飾商業を、え、こっちのほうは少し早めに卒業しまして……は、それから後？ いえいえもちろん東大なんかじゃございません、はい。ええ、早稲田大学でも慶応でもございませぬ。その何と言いますかねえ、つまり私どもの教育方針と申しますのは、その……、実力主義でございまして。はい、え、そうでございます……ええもうくだらない大学なんぞ出るよりも、ええ、そのほうがよっぽど……早めに社会に出しましてみっちり鍛えましたようなわけで……、は？ 趣味？ ええ趣味のほうは……いえいえあの、旅行でございます。もう当人旅行が何よりも好きでね。はあ、年柄年中旅行しておりますよ、はい。へっ？ 身体からだ？ いやもうそれだけは頑丈そのものでして、ええもう病氣一つしたことございませぬ」

⑩寅次郎夢枕

帰れるところがあると思うからいけねえんだよ、
失敗すりやまた故郷こきやうに帰りゃいいと思ってるからよ、
俺やいつまでたつたって一人前になれねえもんなあ。

⑥純情篇



「寅の父親というのはね、なかなかの遊び人でね、
かみさんや子供達はずいぶん苦労させられたもんだ……
子供達と言っても寅は何というか、腹違いで、
はつきり言えば私生児のような形で生まれたもので……
まあ、可愛^{かわい}想^{もう}な生^おい立ちですな、あれも」

④新男はつらいよ

おれは旅人だからな。
風の吹くまま、気の向くまま。
歩きながら考えるさ。

④7拝啓車寅次郎様



寅さんみたいになっちゃうよ——近所の母親が子供を叱る時の決まり文句である。さくらもつらい



「だれだってさ、

お兄ちゃんみたいな人間になりなさいって、

子供に言うわけいかないもんねえ。

……でもさ、お兄ちゃんは

何一つ悪いことしてないのよ」

⑧寅次郎恋歌

親父はね、

私のことぶん殴る時アいつも言ってたね、

お前はへべレケの時つくった子供だから

生まれついてバカだとよう。

あんちゃん口惜しかったなア、

酔っぱらってつくったんだもん俺のこと。

……真面目にやってもらいたかったよ、

俺は本当に……。

①男はつらいよ





「惚^ほれたって無駄だってことは
ハナっから分かっているくせに、
どうしてまあ、ああトコトンまで
いっちゃうのかねあいつは……」

④新男はつらいよ

俺なんかどっちかって言うとな
静かな女がいいねえ。
俺こうみえてもね、おしゃべりなんだよ。

③幸福の青い鳥



寅次郎が運転手つきの車で帰郷した事を聞いた御前様の言葉



「——悪いことでもしたか。
いや、それ程の頭はないだろう」

⑩花も嵐も寅次郎

バカヤロウ。俺は男だ。
寂しさなんてのはなあ、
歩いている内うちに、
風が吹き飛ばしてくれらあ。

④寅次郎の告白

満男に寂しくなることはないかと問われて

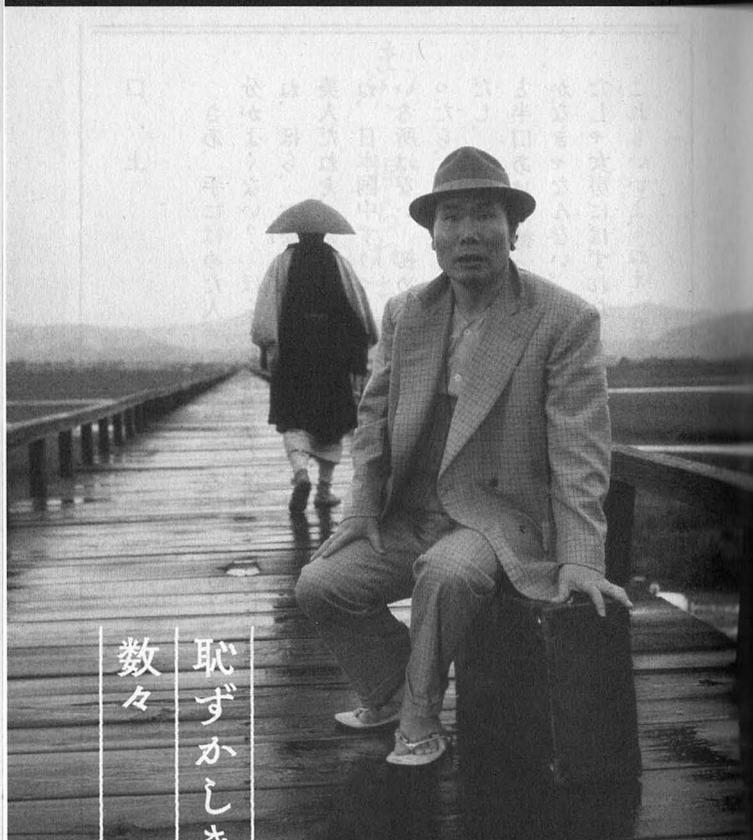


葉書

拝啓、坪内冬子様、久しき御無沙汰をお許し下さいまし。故郷柴又を出しより一年余り、思えば月日のたつのは早きもの、風の便りに妹さくら出産の知らせを聞き兄として喜びこれにすぐるものなく、愚かしき妹なれど、私のただ一人の肉親なれば、今後共御引き立ての程、お願い申し上げます。

尚、私こと、思い起こせば恥ずかしきことの数々、今はただ後悔と反省の日々を、弟登と共に過ごしておりますれば、お嬢様には他事ながらお忘れ下さるよう、ひれふしてお願い申し上げます。

①男はつらいよ



恥ずかしき事の
数々

さあ、手にはめた人、こう出してみて、どう？ ちょっと、このへん気分がよくない？ ほら、なんとなく体のちようしが良くなって来るだろう、ね、ほら、お婆ちゃん、顔色がいい、ほつたも赤いよ。このお婆ちゃん、美人だねえ、えーほら昔は男をずいぶん泣かしたな、ちきしょうめ。私もね、日本国中ずうつと商売で旅してますけども、この町ほど美人の揃っている所はない、初めてだこんな美人のいる所は。うん、さあ、もうこうなったら、ただ！ この電子バンドとう、クチバクバク。ね。ただだよ。ただし、ただしだ、ね、私がここまで来た電車賃、それと貧しい弁当代、あと半口あけて待っているうちの馬鹿っカカア、これにいくらか持っているかなきゃなんない。ね、私も女房持ちなのよ、これが、またひどい女、あたしや女房にはずれたよ……。さ、どうお婆ちゃん手に取って見てごらん、これもいいよ、ねえ、さあ……。

(22)噂の寅次郎

また、振られちゃったよ。

⑧寅次郎恋歌



寅次郎の縁談で、おいちゃんの言葉

「バカ、こっちが気に入るかどうかわからないだよ。
向う様が寅を気に入ってくれるかどうかの問題なんだよ」

⑬寅次郎恋ぞつれ

雲 水「誠に失礼とは存じますが、あなた、

お顔じよなんに女難そらうの相あひだが出ております。

御用心おきそつけなさるようには」

寅次郎「分かっております。物心ついてこのかた、
その事で苦しみぬいております」

⑭噂の寅次郎

吊り橋の上ですれ違った僧侶がふりかえって



兄の愚かさを嘆くさくらに、御前様の言葉

「いや、そんなことはない。

仏様は愚者を愛しておられます」

③ 寛次郎物語

「だってお前、

金のねえ奴がみんな不幸せだってんならさ、

この寅なんぞお前、生まれてから今日までずーっと
不幸せの連続じゃねえか」

⑬ 寛次郎恋ぞつれ

寅はどちらかといえば、やはり幸せな男だと、おいちゃんは信じている

豆腐屋の娘との結婚、
堅気の生活への夢破れて



うん……

やっぱり……地道な暮らしはムリだったよ、
さくら。

⑤望郷篇

早い話がさ、

俺の娘が、俺みたいな男と、
いっしょになるつつつたら、
俺は絶対反対するからね、
おじちゃん、どう思う？

②寅次郎わが道をゆく

タコ社長から縁談を持ち込まれて





寅次郎 「いや頭のほうじゃ判ってるけどね、

——気持のほうだが、そうついてきちゃくれねえんだよ、

ねえ？ だから、これは俺のせいじゃないよ」

さくら 「だって、その気持だってお兄ちゃんのものでしょうか」

寅次郎 「いや、そこが違うんだよ、早い話がだよ、

俺はもう二度とこの柴又へもどって来ねえとそう思っただ、

気持のほうはそうは考えちゃくれねえんだよ、

アッと思うとまた俺はここへもどって来ちゃうんだよ、

これは本当に困った話だよ」

⑥純情篇

なあに、社長の金の苦勞に比べりゃ、
俺の色恋沙汰の苦勞なんてのは、
屁みたいなもんだよ。

④寅次郎子守唄

タコ社長に失恋を慰められて



小学校へ入ったらさ、俺サーカスに入りたかった、
ね？ あの三角のテントさ、うん。

それで今度は忘れもしない、

中学の頃には、俺はテキ屋に憧れてね、ああ。

四ツ谷赤坂麴町、チャラチャラ流れるお茶の水、

粹な姐ちゃん立ちションベン、白く咲いたが百合の花――

へへっ、まあ、俺は俺なりのそおゆう貧しい小さな夢を

持ってたわけよ、

結局今はさあ、こうやって……

あ、ずーっとそれやってんのか。



②寅次郎わが道をゆく

散歩先生「俺が我慢ならんことは、

お前なんかよりも少しばかり頭が良いばかりに、

お前なんかの何倍もの悪いことをしている奴が

ウジャウジャいるということだ……。

こいつは許せん、実に許せん馬鹿もん共だ、寅」

寅次郎「私より馬鹿がおりますか」

散歩先生（東野英治郎）は、
寅次郎の幕飾商業時代の恩師



②続 男はつらいよ

全くの話、^{ぜに}銭があれば、^{ぜに}銭さえあれば、
私は今すぐにでも^{みやげ}土産を買い込んで
故郷へ帰りたいたいのでございます。

それが愛って
もんじゃないかい

④新 男はつらいよ



口 上

天に軌道きどうのあるごとく、人それぞれの運命を持って生まれあわせております。とかくネの干支えとの方は、終り晩年が色情的しよくてき関係においてよくないが……当たるも八ヶ、当たらずも八ヶ、人の運命などというものは誰にも分らない、そこに人生の悩みがあります。奥様、先程よりあなたは顔だけこちらを向いて足と体が向うを向いております、ということはこれから用をしないかなければならないが私の話わがごとが気にかかります、なぜかという、あなたの心に悩みがあるからです、ねえ、さて皆さん、こうやってここで話をしておりますチョンガーの身の上のこの私も、いつ、いかなる時絶世の美人とバツタリ出会うということも……。

(② 続男はつらいよ)

寅次郎「一八女 怪癖の遺言」
ほら、いい女がいたとするだろう。なあ？

男がそれを見て、ああ、いい女だなあ、
この女を俺は、大事にしてえ

—— そう思うだろう、
それが愛っていうもんじゃねえか。

⑩ 柴又より愛をこめて



寅次郎「話はしない。」

——テーブルの上にコーヒーがある、

静かな音楽、黙って聞く。

彼女が言うな、『おいくつ』。

そしたら、お前なんて答える」

良介「二十五」

寅次郎「バカ、砂糖の数だよ」

良介(中村雅俊)にデートの手ほどき



⑳寅次郎頑張れ!

逢う、逢わない、逢う、逢わない、
逢う……
やっぱり逢うことになるか……

花占い。帝釈天境内にて



㉑寅次郎恋歌

お手々をコタツの中に入れてるわけだ。
ね、お互いの手と手がスーッスーッて当たるわけよ、
そのうち相手もよ、
気のつかねえようなフリしてすっと手を引っ込めようとする、
シッカリその手を握るんだ。
いっとくけどな、決して相手の目を見ちゃいけないぜ、
お手々だけ。これがコタツの恋よ。

③フーテンの寅



男が女に惚れるのに、歳なんかあるかい。

③知床慕情





誰をうらむってわけにはいかねえんだよね、
こういうことは。

そりゃ、こっちが惚れてる分、

向うもこっちに惚れてくれりゃあ、

世の中に失恋なんてなくなっちゃうからな。

そうはいかないんだよ。

② 實次郎あじさいの恋

亭主が女房に月給袋を渡す——いいねえ。

恋に破れたマドンナ・かがり(いしだあゆみ)へ

③ 夜霧にむせぶ實次郎



源 公「でも兄貴、

愛があれば何とかなるんやないか」

寅次郎「それは若者の考えることだ。

俺ぐらいに分別が出てくると、

そうはかんだんにはいかない……」



③ 口笛を吹く寅次郎

浴衣、^{ゆかた}きれいだねえ。

歌子(吉永小百合)への万感の想い



④ 寅次郎恋々つれ

いい女が泣くと、

笛の音に聞こえるんだなあ。

おばちゃんが泣くと、

夜なきソバのチャルメラに聞こえるんだな。



②⑧ 寅次郎紙風船

「私を好きなの？」

「……口で言ってる」

三郎（沢田研二）へ、螢子（田中裕子）の言葉



③⑩ 花も嵐も寅次郎

「いいじゃない。

何百万遍も惚れて、

何百万遍も振られてみたいわ」



① 寅次郎忘れな草

だから素人しらうとは困るんだよ。

心や気持で女が動いたらお前、

苦勞はしないじゃないか、そうだろう。



④ 寅次郎子守唄



「愛してるって言われて
不愉快に思う女がいると思う?」

③⑥ 柴又より愛をこめて

要するに女をつかむのは目だよ。ね。

そう言ったって最初からジーツとこんなふうにして見ちゃダメだよ。
ノッケから。色気違いと思われちゃうから。

だからね、なんつうのかなやっぱりこう、チラッと流すんだよね。

チラッと、こう流すんだよ。そうすつと、

こうやってる女の頬ほっぺたに電波がビビビッて感じるんだよ。

そうすると女もフツと見るじゃない。

見られたなアと思ったらね、フツと眼をふせるんだ。

そうすつと女は、あらっ? と思うだろ?

そんな時、バチツと眼めを合あわしたら、この目を絡かませるんだよ。

そしてうったえるように、縋すがるように、甘えるような目で

ジーツと見るんだよ。

① 男はつらいよ



女に振られた時は、

じっと耐えて、一言も口をきかず、

だまって背中を見せて去っていくのが、

男というものじゃないか。



② 寅次郎わが道をゆく

「理想なんてないの、
好きになった人が理想の人なの」

螢子(田中裕子)の言葉



③ 花も嵐も寅次郎

柴又駅でリリーに傘をさしかける寅次郎



リリー 「迎えに来てくれたの？」
寅次郎 「バカヤロー、散歩だよ」

⑮寅次郎相合い傘

「幸せな恋もあれば、
不幸せになる恋だってあるわけでしょう」

⑬夜霧にむせぶ寅次郎

さくらの言葉



何も言わない、眼で言うよ。お前のことを愛しているよ。
すると向うも眼で答えるな、悪いけど、私あんたのこときらい。
するとこっちも眼で答えるな。
分かりました、いつまでもお幸せに。
そのままくるっと背中を向けて、黙って去るな——
それが日本の男のやり方よ。



⑭ 寅次郎春の夢

「恋すんのと
できてんのと、
どう違うのよ」

おばちゃん
の言葉



⑮ 寅次郎相合い傘

寅次郎の「好きなタイプ」



亭主が帰ってくる、
風呂が先か、酒が先か、
スツと面見て分かるようじゃなきゃだめだよ、ねえ。

③フーテンの寅

あれが惚れた相手に言うセリフかよ。ええ？
わしとつきおうてください——
おかしい、おかしいよお前、え？
まるでチンピラの押し売りだよ、それじゃ。

⑩花も嵐も寅次郎

天下の二枚目(沢田研二)の愛の告白を笑う



妻をめとらば



さあ、別にとり立ててねえけどもね……

まあ、寝坊の女はいけないな、うーん。

朝こつちがパチッと眼エさめて起きてもよ、

隣でもって

パカッと大口をあいて鼾びびかいて寝ていられたんじや、
こりやたまらねえからねえ。

③フーテンの寅

思い切つてなんでも言つたらいいさ、
惚れていますとか、好きですとか。

④寅次郎子守唄

若者に向かつては率直さを説く寅次郎だが……



「カッコなんて悪くたっていいから、
男の気持をちゃんと伝えて欲しいんだよ、
女は」

④⑧ 寅次郎紅の花



いいかい、恋なんてそんな生易なまやかしいもんじゃないぞ。
飯めしを食うときもウンコをするときも、
もうその人のことで頭が一杯よ。
何だかこう胸の中が柔らかくなるような気持でさ、
ちよつとした音でも、

例えば千里先で針がポトンと落ちても、ワアッとなるような、
そんな優しい気持になって、いい、
この人のためだったら何でもしてやろうと、命なんか惜しくない、
ねえ寅ちゃん、私のために死んでくれる？　と言われたら、
ありがとうと言ってすぐ死ぬる。

それが恋というものじゃないだろうか、
どうかね、社長。

④⑩ 寅次郎夢枕



貧しいねえ、
君たちは



葉書

新年あけましておめでとうございます。
健吾様、美保様におかせられましたは、
平和な正月をお迎えの事と存じます。
お二人の御幸福を心よりお祈り申し上げます。
小生、相も変らず青い鳥を求めての
旅暮らしてございます。

正月元旦

車
寅次郎拝

そりゃ、私だつて商売ですよ、家に帰りゃ女房子供が腹空かせて待つてる、昔の仙人じゃあるまいしカスミの中からスーッと出て来てこんなことをしている訳じゃない、ちゃんね、ネタもとという所があつて、この道具を借りて来て店出してる訳だ、こんな易なんというもので人間の運勢などというものが百発百中にあたる訳がない、私が言ってるんだから間違いはない。しかしね、お客さん、私はもうこの商売をもう十年やってる、なぜでしょう、十のうち九ツ間違つていてもたった一つだけ本当のことがあるからなんですよ、あなただつてその一つにすぎりたような悩みがあるから私の話を聞いてるんだ、ねえ、お客さん。あ、そこのお兄いさん、うーん、あなた親がないねえ、怖ろしいなア……あなた捨て子だったね。

(② 続男はつらいよ)

寅次郎「おぼちゃん、今夜のうちのおかずは何だ」

つね「お前の好きなお芋の煮っころがし」

寅次郎「かあーっ、貧しいなあ、うちのメニューは、

もうちょっと何かこう心の豊かになるおかずはないかい、

たとえば厚揚げだとか筍の煮たんだとか」



まあ、こういう豊かな自然の中で
暮らしている君たちには、

ちよっと分かりにくいかもしれないけども、

東京のインテリの中では、

ひとかけらの愛情もなくても

夫婦の形をとってるものがあるんだよ、

いやあ、貧しいねえ。



寅次郎「何だ、おいちゃん……何考えてんだ、うん？」

竜 造「お前と同じことよ」

寅次郎「イ、いい年して何だよ、……きたねえよ！」

考えてることが不潔だよ！

まったくな、俺ア恥ずかしいな、

こないやしい爺じいイが俺の身内だと思うとよお」

竜 造「何いってんだこの馬鹿、俺はただね、

ああ今日も日が暮れたなと、ただそう思ってた

だけじゃねえか、それが何できたねえんだい」

健気な若菜（樋口可南子）のために「肌脱ごう」とする寅次郎

だから何とかしてやりてえんだよ。
何不自由なく結婚がめあての
OLなんかじゃねえんだから。



⑤ 寅次郎恋愛塾

おい、コラ、青年、

お前は大学を出なきや

嫁は貰えねえってのか。

ああ、そうかい、

手前はそういう主義か。

さくらへの想いに悩む博に



① 男はつらいよ



俺とお前が兄弟分だったのは昔のことだ。

今はお前は堅気かたぎの商人あきんどだぞ、俺は股旅鳥またたびがしの渡世人とせいにんだ。

俺がお前の家うちへ訪ねて来ても、

「私は今堅気の身分です。」

あんたとは口をききたくありませんから帰ってください——

お前にそう言われても、俺は「そうですか、すいませんでした」

そう言って引き取らなきやならねえんだぞ。

それを何だお前、酒を買いの肴さかを買いの、店をしめろのと。

そんな気持でもってこれから長い間堅気の商売ができるか。

——ほら、お客さんだ。

③夜霧にむせぶ寅次郎

寅次郎「バカヤロウ、あのお嬢さんが

ラーメンなんか作るかい、

手前の考えは貧しいからいけねえよ」

源 公「そいじゃ、何作るんだよ」

寅次郎「きまつてるじゃねえか、スパゲッチーよ」

②続 男はつらいよ



貧しいねえ、君たちは。

二言目には金だ。

金なんかなくなっちゃっていいじゃないか、
美しい愛さえあれば。



⑬ 寅次郎の休日

一日中その顔をじいっと見てる。

……台所で洗い物をしている、

そのきれいなうなじを俺は見つめている。

針仕事をする、白魚のようなきれいな指先を、

俺はじいっと見惚れる。買物なんかだって、ついていっちゃうよ、

八百屋で大根を値切っているその美しい声音に思わず聞き惚れる。

夜は寝ない。

スヤスヤとかわい寝息をたてるその美しい横顔を

じいっと見つめているな、俺は寝ない。

……いいんだよ、食わなくなっちゃって。

あんなきれいな人と一緒に暮らせたら、

腹なんか、すかないんだよ。

仮に美人の奥さんがいたなら



⑭ 寅次郎真実一路



「ちょっと待ってください。
物を持ってるから偉いとかって考え方は
違うんじゃないですかねえ」

⑪ 寅次郎忘れな草

長旅から帰ってくると

シヤケの切身か何かでお茶漬けをサラサラッと食いてえからなあ。

あ、オシンコはなあ、たっぷり出しておいてやってくれよ。

どうも旅館の飯^{めし}ってのは味気なくていけねえや。

長い旅イしてるとほんとにオシンコが食いてえからなあ。

おい、源公、ヤカンにな、お湯を沸かしておいてやってくれ。

⑫ 私の實さん

おいちゃん夫婦、さくら夫婦と満男が
めったに行けなかった旅行から帰る日



リリー（浅丘リリ子）は、旅に明け暮れるキャバレー歌手

あー嫌だ嫌だ。

これだから苦勞をしてない人間と

話をするのは嫌なんだよ。え？

リリーという女がねえ、

どんなにつらい暮らしをしているか、

つまりおぼちゃんのようなその、

中流家庭の婦人にはわからないの。



⑪ 寅次郎忘れな草

そうよ、人生は賭かよ。



⑥ 純情篇

女にはね、たしなみっていうものが要なんだよな、亭主の前でもってさ、

よくバタバタバタバタ、あたしおしっこに行こうなんて、おばちゃんよくやってるじゃない、

ね、むっちゃやうむっちゃやうむっちゃやうなんて、

そら、行っちゃいけないとはいわない、

行ってもいいんだよ、ただ男の気がつかねえように

スーッと用すまして帰ってくるっていう。

そういうたしなみが欲しいってわけるわけだ。



③フーテンの寅

横柄おぢな爺おぢイだねえ、

年よりはもうちよっと可愛みがなくちやいけないぞ。

いつも家うちへ帰ってそんなふうなのか、

嫁さんのほうに同情しちゃうな、俺。

画壇の重鎮である老画伯(宇野重吉)と知らずに



①7寅次郎夕焼け小焼け

初対面のひとみ（桃井かおり）に車に乗らないかと誘われて



若い娘がな、
旅の行きずりの男を
そんな気易く誘っちゃいけないよ。
もし悪い男だったら、どうするんだ。
そうだろう。

②翔んでる寅次郎

ケツ、どこを突くとお前、
そんなセリフが出るんだ。えっ？
俺が貧乏なのは俺のせいだよ。
博が貧乏なのは経営者の手前のせいだぞ。

①寅次郎と殿様

タコ社長を叱る



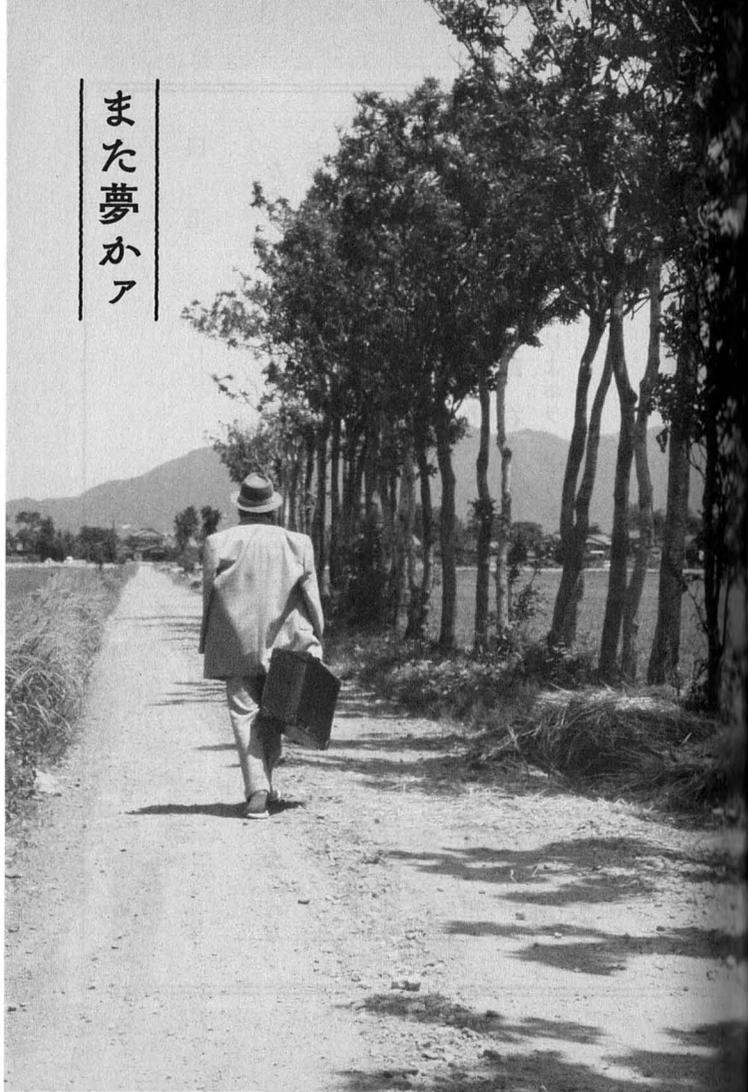
立ち小便をタコ社長にとがめられて



朝から晩まで
仕事してりやいいってもんじゃないよ、
お前。おてんとうさまが沈んだらね、
早めに寝てもらいてえな粹まじによオ、
へへっ、貧しいねキミらは。

①男はつらいよ

また夢かア



口
上

なあ、おぼあちゃんよう、こんな立派な鎌倉彫りがねえ、わずかこんなお値段でお願いできるわけがないでしょう。こりや大きな声じゃいえないけどもねえ、神田はポックリ堂という大きな履物問屋がわずか何百万かの税金で投げ出した品物だよ、デパートでお願いしましたら、六百円か五百円する品物、今日はそれだけくださいとはいわない、ね、腹切ったつもりどう！ 四百、三百！ ああ、これで買い手がなかったら右に行つて田子ノ浦、左に行つて三島、右と左の泣き別れだ……ようし特別二百円！ おぼあちゃん持つてけよホラ、どうおぼあちゃん、ホラ、え？

(7) 審問篇

ほら、見な、

あんな雲になりてえんだよ。

⑨ 柴又暮情



「でもさ、お前の親父おやじが死んだ時に、夢枕に出たんだぜ。

……俺が何か用かいって言ったらな、

寅とさくらのことはよろしく頼む、

特に寅の奴やつは生まれつき馬鹿だから心配でしかたねえって、

哀しそうにそう言っさ、すうっと消えちまったんだよ、

眼がさめたら汗ぐっしょりよ」

おいちゃんの言葉

⑬ 寅次郎恋々つれ

「私達夢見てたのよ、きつと。

ほら、あんまり暑いからさ」

リリー（浅丘リリー）の言葉

⑭ 寅次郎ハイビスカスの花

俺の野辺送りには、あの江戸川に
屋形船の五艘も浮かべてもらいたいな。

……先頭の舟には俺の棺桶だ、ね。

二隻目には、さくら、博、他に親戚一同、あ、
おいちゃんとおばちゃんは、その頃死んで、かたづいちゃってる。

あとの三艘には、ハッピ、ハチマキで身を固めた

柴又神明会の威勢のいい若い衆。

それと、本所深川のきれいところの姐さんを二、三十人、

あと、笛、太鼓、三味線の鳴物も積み込んだ、さあ、出発だよ！

五艘の舟が江戸川を静かに下って行く、エンヤドット、エンヤドット、

松島のオ、両岸で、いまやおそしと待っている花火屋が

大筒にスーッとおもいをこめて、火をつけた、

スーススス、パーン、玉屋——。

パーッと散ったやつが、バラバラバラ……。

自分の葬式について語る



⑭ 寅次郎子守唄

「ホーム・ルームの時間にね、

先生が将来何になりたいんだって聞いたから、
音楽家になりたいって言ったんだ。

そしたら先生、バカにしたみたいに笑って、

そんな夢みたいなこと考えてないで、

もっと足元を見ろ——そう言うんだ」

満男の言葉



⑮ 寅次郎恋愛塾

「な、さくら、
子供のためには庭が欲しいな。
しかし二十坪の土地じゃなあ」

博の言葉

⑨ 柴又暮情

「そんな人生もあるのねえ。
明日何をするかは明日になんなきや
決まらないなんて、いいだろうなあ」

演歌歌手はるみ(都はるみ)の言葉



④ 旅と女と寅次郎

はあ、明日っから、お姉さんと二人きりかあ——
何だか参ったなあ。

差し向かいで、ゴハンを食べる。

お互いに意識しているから言葉が少ない、

「静かな夜ですねえ」「そうですね——また沈黙が流れる。

たまりかねて姉さんが、「あの、私、休ませていただきます」

「あ、どうぞ」「お休みなさい」丁寧にあいさつしてそこを出て行く。

ひたひたひたひたひたひた——廊下を歩く足音。

お姉さんは風邪を引いているから、かるく咳せきをしている。

コホンコホンコホン。

俺は横になってここで静かにそれを聞いている……

まずいなあ。いくら広い屋敷とは言え同じ屋根の下、

世間が黙っている訳がない、ましてこんな小っちゃな島だ、

噂は島中にパッと広がる——

「おい、聞いたかい、寅のやつが、

お藤さんと怪あやしいらしいぜ、へえ……」

こんな噂を聞いて、俺は黙ってここにはいられない。

「お姉さん、長い間お世話さまになりました。

あっしはこれで失礼いたします」

「あら、寅さん、もういらっしゃるの」

「はい」

「あなた、世間の噂に負けたのね、私は平気なのに」

——そんなこと言われたら、俺、たまんねえなア。

平戸島にある藤子（藤村志保）の家で



②0 寅次郎頑張り!

上等上等、あたたかい味噌汁さえありや充分よ。
後はおしんこ、海苔、鱈子一腹、ね、
辛子のきいた納豆、これにはね、
生ネギをこまかく刻んでたっぶり入れてくれよ、
あとは塩こんぶに生玉子でもそえてくれりや、
もうおばちゃん、何にもいらねえな、うん。

⑤望郷篇



「そりゃあお前、
俺は満州で馬賊になるつもりだったからな」

④寅次郎わが道をゆく

おいちゃんの若かりし頃の夢





「いいなあ、伯父^{おじ}さんは。
大学落ちたら、伯父^{おじ}さんの弟子^{でし}になるか」

④0 寅次郎サラダ記念日

「寅^{やっ}の奴^{やつ}が帰^{かえ}って来^きたんだよ。

それがいつもと違って元氣いっばいで何だか幸せそうな顔してさ、
ズカズカと俺^{おれ}ん所^{ところ}に来て、いきなりこう言いやがったんだ。

『おいちゃんよ、長い間心配かけたけどとうとう結婚したよ』って

——まあ俺^{おれ}それきいたら胸^{むね}がいっぱいになっちゃまってさ、

そりゃあよかったな、って一言言^いったと思^{おも}ったら、あとは涙^{なみだ}よ」

⑬ 寅次郎恋々つれ





ケッコー毛だらけ
猫灰だらけ

「夢じゃ食えないからね」

リリーの言葉



⑮ 寅次郎相合い傘

口 上

ケッコー毛だらけ猫灰だらけ、お尻のまわりはクソだらけってねえ、タコはイボイボ、ニワトリやハタチ、イモ虫や十九でヨメに行くと来た、黒い黒いは何みてわかる、色が黒くてもらい手なけりや山の鳥は後家ばかり、ねえ、色が黒くて食いつきたいが、あたしや入歯で歯が立たないよと来やがった……どう？ まかった数字がこれだけ、どう？ 一声千円といきたいね、オイ！ ダメか？ 八百！ 六百！ ようし！
腹切ったつもりで、五百両と、もってけオイ！

(⑥ 純情篇)

さからってますよ、
十六歳の折まからずーっとさからってますよ、
俺は。

⑧ 貞次郎恋歌



寅次郎「俺は別に悪いことなんかしちゃいねえからな」

さくら「そんなんじゃないのよ、国勢調査よ」

竜造「これ書かねえとなあ、日本の人口からはずされちゃうんだぞ」

さくら「そうよ」

寅次郎「はずされたっていいよ」



②⑩ 寅次郎かもめ歌

雪駄せつだつつう物はね日本古来の履物はきものだ、

あつしはこれを履はいてね、

パリだってロンドンだって

あたしは平気で行きますよ。

寅次郎は、しかし飛行機が嫌い。ついでに新幹線も苦手



④ 新男はつらいよ

竜造「どうだ、えっ？ こたえたか。

これは俺が殴ったんじゃねえんだぞ、

俺のゲンコじゃねえんだこりゃあ、

死んだてめえの親父オヤジのゲンコだぞ」

寅次郎「笑わせるなあっ、親父のゲンコはもっと痛かったい！」



①男はつらいよ

歓迎されたい気持はあるよ。
だけど、おいちゃん、
俺はそんなに歓迎される人物かよ。

旅先からとらやへ帰って



⑧寅次郎恋歌

美保（志穂美悦子）に謝りに来た
健吾（長洲剛）のおかしな注文を見て



幸せな男が
ダンゴとビール一緒に食うかい。

③⑦幸福の青い鳥

株ってというのは、一枚いくらなんだい？
今百円ぐらいするのかい、え、
あ、競輪けいりんと一緒に？

③④寅次郎真実一路



齢四十にして学を志す



博 「いいですか、勉強をして眼が悪くなって、その結果、

眼鏡をかけるんですよ。眼鏡をかけたからと言ってね、
勉強したことにはなりませんよ」

寅次郎 「気分だって言っているんだ、気分から入るんだからさ。

ね、新しい禪をすれば体中だってキリッとするじゃないか」

⑬ 葛飾立志篇

冗談じゃないよ、

朝っぱらからパンなんか食えるかい、
もぐもぐして喉につつかえちゃうよ。

⑭ 寅次郎春の夢

アメリカ人がとらやに下宿することになって



この野郎、女だとか愛だとか
ハチの頭だとかアリのキンタマだとか
ゴタク並べやがって、
おい、手前要するにさくらのことを
女房にようばに貰もらいてえんだらう？



①男はつらいよ

リリー「幸せにしてやる——？ 大きなお世話だ。

女が幸せになるには男の力を

借りなきゃいけないとでも思ってるのかい。

笑わせないでよ」

寅次郎「でもよお、女の幸せは

男次第だっってんじゃないのか」

初恋の人に再会し、自らの不甲斐なさを嘆く兵頭
(船越英二)に、リリー(浅丘ルリ子)と寅次郎の言葉



⑤寅次郎相合い傘

若菜（樋口可南子）の隣室に住む
法律家志望の青年（平田満）について



若菜「秀才よ、法律の勉強してるの」
寅次郎「へーえ、悪いことでもしようってのか？」

⑤寅次郎恋愛塾

あ、皆さん、私は早いんだよ、

早飯早糞芸のうちってね、見せたいぐらいだな。

座ったと思ったらペロッとケツ拭いちゃうから……。

①男はつらいよ

なぐらの見合いの席で



赤ん坊を抱えて帰京、とらやは大騒動になる



いいか、これが俺の实の子だったら
いちいちウンチが柔らかいかいくらいで
こんな大騒ぎはしやしないよ。
これはお前、他人様の子なんだよ、
もしこの子に万が一間違いがあってみる、
お前弁償できるか。

⑭ 寅次郎子守唄

誰が手前に産んでくれって頼んだ。
俺や手前なんか産んでもらいたくなかったい、
ひりっぱなしにしやがって、
ひとのことほったらかして雲がくれしやがって、
手前それでも親か！

② 純男はつらいよ

やつとめぐり逢えた実母の
菊(ミヤコ蝶々)に



それじゃなにか、真面目な男っていうのは
女に惚れないのか。
じゃ俺なんか総合的に見たら、
真面目じゃないってわけか。



④ 寅次郎の休日

なぜだ？ お前頭悪いなオイ、
お前と俺とは別な人間なんだぞ、
早い話がだ、俺が芋食って
お前の尻からプツと屁が出るか？

思い悩む博に



① 男はつらいよ

渡世人の

つれエところよ



おいちゃん、俺は決してね、
金持ちの娘を嫁にもらおうなんて
気持はこれっぽっちだってありやしねえよ。
女ってのは少し苦労したほうが
いい嫁になるっていうからね。

③フーテンの寅



……国の始まりが大和の国、島の始まりが淡路島、泥棒の始まりが石川の五右衛門なら助平の始まりが小平の義雄、続いた数字が二、仁吉が通る東海道、憎まれ小僧が世にはばかる、仁木の弾正、お芝居の上での憎まれ役、ねえ、ちょっとお父さん、これ、いいもんだから買ってよ、ねえダメ？ ケチッ……三、三、六歩で引け目がない、三で死んだか三島のおせん……おせんばかりが……畜生！ こうなつたらもう、おわい屋の火事じゃないけどヤケクソだよ、ええ、これで買ひ手がなかったら、あたし稼業三年の恵いと思つて諦めます。浅野内匠頭じゃないけど腹切つたつもりで諦めちゃうからね。それあげるよお兄さん、ええ、持っていきなよ、安いもんだからさ、よォ、パチンコばっかりやってないで本読みなよ、たまにや、勉強しろよ本当に！ 買わねえか！ どの時もこいつも貧乏人の行列だ、買ってくれなんて頼みやしないよお前、ええ、どこへ行つたつてこれだけの値段がね、安く買えると思つてん……。

(⑧ 寅次郎恋歌)

言つてみりや、リリーも俺と同じ旅人さ。

見知らぬ土地を旅してゐる間にや、

そりやあ人には言えねえ苦労もあるよ……。

例えば、夜汽車の中、

少しばかりの客はみんな寝てしまつて、

なぜか俺一人だけいつまでたつても寝られねえ——

真つ暗な窓ガラスにホッペたくつつけてじつと外を見ているとね、

遠く灯りがポツンポツン……

あー、あんな所にも人が暮らしているか……

汽車の汽笛がポーッ、ピーッ……

そんな時、そんな時よ、ただもうわけもなく悲しくなつて、

涙がポロポロポロポロこぼれて来やがるのよ。なあ、

おいちゃんだつてそんなことあるだろう？



道連れとなった会社員・兵頭（船越英二）と協力して商売に成功



まったくな、シロウトはこわいよ。

⑮ 寅次郎相合い傘

死んだか……

野郎のくには何て島だっけ。

……奥尻島かあ。

線香の一本でもあげに行つてやるか。

⑳ 寅次郎かもめ歌

テキヤ仲間の計報を聞いて



テキヤ殺すに刃物はいらぬ、
雨の三日も降ればいいってね。



⑬夜霧にむせが寅次郎

俺ア今日ついてるんだ。

つきは逃がしちやいけねえ、
それが渡世人というものよ。



④新男はつらいよ

……そうよな、

今度鹿児島へ帰^{りえ}ってくるのは三月の頭かな、

桜の花もボチボチ咲こうって頃よ。

それから熊本、小倉^{こくら}、尾道^{おのち}とズーッと下って

四月は関東、五月は東北、六月は北海道、

俺達の旅は桜の花と一緒によ、

花見の旅だい。



③フーテンの寅

安心しな、他の人になくってね、
伯父^{おじ}さんにありあまるもの、
それは暇だよ。

満男に



①旅と女と寅次郎

大阪で、宿の斡旋を警官（イッセー尾形）に頼んで



ああそりゃあ駄目だ、勘弁してくれ。

俺、ベッドつての駄目なんだ。ね。それと、

小さな風呂、腰掛けウンチ、全部駄目なんだよ。

狭くつてもいいから、畳の敷いた宿、頼むよ。

⑳ 寅次郎物語

人間この世に生まれてくる時もたった一人、

そして、死んで行く時もたった一人でございます。

何と寂しいことではございませんか。

㉑ 口笛を吹く寅次郎

代理坊主として権家の人々を前に



ビールの一本ももらうか。

——それとも昼間から働いている

労働者諸君に悪いか。

ま、いいや、かんべんしてもらって。
一本、な。



⑳寛次郎頑張れ!

⑮寛次郎相合い傘

そうなんだよ、俺定年なんてないもんねえ。
そっち、どこで手に入れたんだ、え？
あれは区役所行くのか。



あーあ、やっぱり家が一番いいや。

長旅から帰って、とらやの二階で



⑫私の實さん

兄貴口惜しいよって、
お前おいおいおい泣いてたろ、涙出して……
あの時の酒は辛口でございましたね。

弟の登をからかって



⑨柴又慕情

蛇ヘビの道は蛇ヘビと言ってな、
俺たち稼業は、仲間内うちの行った所を探すのは、
そうむずかしいことじゃねえんだよ。



③ 寅次郎物語

旅の者ですが、通りすがったのも何かのご縁、
お線香の一本もあげさせていただけますか。



② 浪花の恋の寅次郎

そうもいかねえだろ、

正月に向かって俺達は書き入れだよ、

いくら寒いからって

炬燵こたつにヌクヌクつかっているようじゃ、

おてんとうさまの罰ばちが当たる。

——そこが渡世人のつれえところよ。

失恋の傷を隠して旅立とうとする
寅次郎。さくらが懸命に止めるが……



⑫私の寅さん

「兄さんの同業だとすると大変だなあ、
健康保険だって入ってないだろうし」

寅次郎の兄弟分が亡くなったと聞いた博の言葉



⑭寅次郎紙風船

あいつも俺と同じ渡り鳥よ。

腹空かせてさ、羽根怪我してさ、

しばらくこの家に休んだまでのことだ。

いずれまたパッと羽ばたいてあの青い空へ……

な、さくら、

そういうことだろう。



⑮ 寅次郎相合い傘

梅の花が咲いております。

どこからともなく聞こえてくる谷川のせせらぎの音も、

何か、春近きを思わせる今日この頃でございます。

旅から旅へのしがない渡世の私共が

粹がつてオーバーも着ずに歩いちゃおりますが、

本当のところ、

あの春を待ちわびて鳴く小鳥のように、

暖かい陽差しのさす季節を

恋焦がれているんですございます。



④ 新男はつらいよ

葉書

拝啓、その後お変わりございませんか。

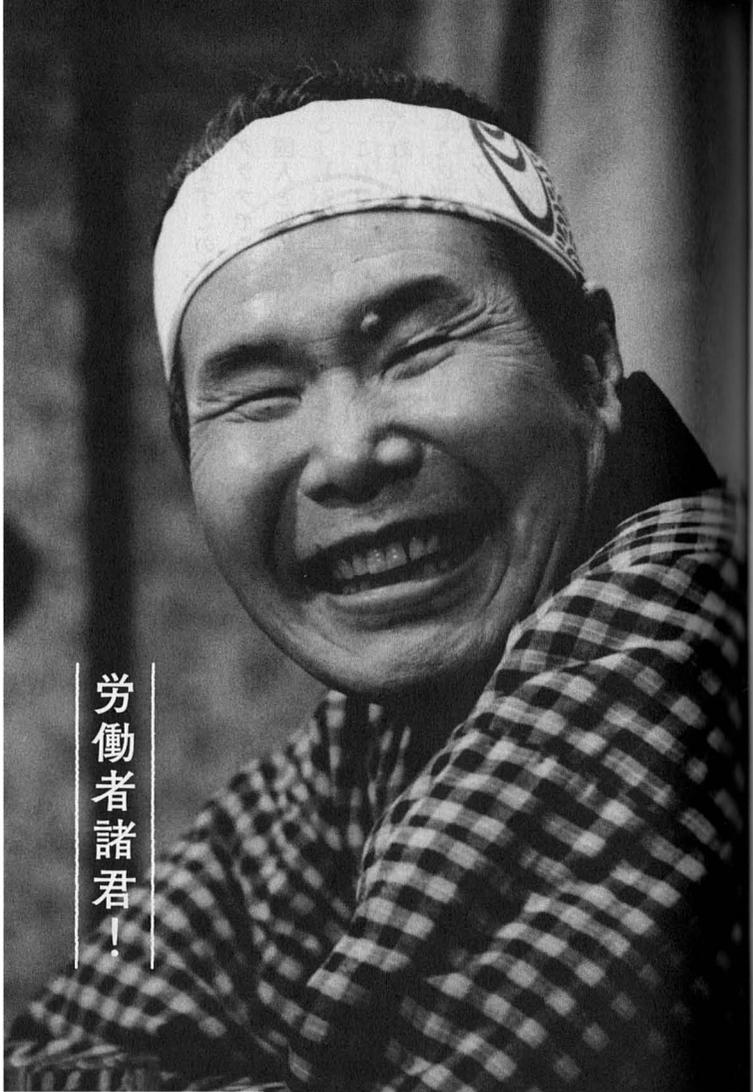
私、柴又にありし時は、想い起こせば恥ずかしき事の数々、今はただ反省の日々を過しおりますれば、どうかお許し下さいまし。

私の妹さくら、そして年老いた叔父叔母、いずれも世間知らずの田舎者ではございますが、私のかけがえのない肉親共でございますれば、何卒御指導御鞭撻の程、お願い申し上げます。

末筆ながら旅先にて、貴女様の御幸福を心よりお祈り申し上げます。

車 寅次郎拝

⑧寅次郎恋歌



労働者諸君！

まずこのグラフに注目されたい。厚生省が発表した日本人の身長のこと
グラフであります。この赤い字が証明するように、戦後日本人の身長は外
国人と匹敵するくらいとんとんと伸びております。

しかしそれに反比例して日本人の体力はドンドンドンドン落ちている。
これは何故かというと、日本人は、つまりこの下駄を履かなくなった為で
あります。——ね、いいかいおかあちゃん、ほら、足の親指と人差指、ね、
この間に人間の健康を司るツボがあります。ここへ鼻緒をグイと突っ込ん
でグイグイグイ歩きながら刺激する。これは日本人の大発明でありま
す。俺なんかほら、こうやって三百六十五日、雪駄せつたを履いてるからただの
一遍も病気をしたことがない。ただし頭はよくないが、これは親父おやじゆずり
だから仕方ない。笑ったな、女学生、退学！

(24) 寅次郎春の夢

おはよう、労働者諸君、
今日からぼくは君たちの仲間だぞ！
ともに働き、ともに語ろう。

⑤ 望郷篇

寅次郎は、タコ社長の印刷工場で働こうとしたこともあった



「見かけよりつらいんだぞお、
サラリーマンの勤めは」

③ 寅次郎 真実一路

社長 「そりゃねえ、やっぱり人を雇うんだったらね、
労働組合、厚生施設、年次休暇、退職金、
そういうものがねえ、ちゃんとしてなきやあ」
竜造 「バカヤロウ、お前の工場こうばどうなんだい」
社長 「だから苦労してるんだよ、俺ん所は」

② 噂の寅次郎

よお、諸君。残業か？

結構けっこう、

稼かせぐに追いつく貧乏なしってね。



①男はつらいよ

「——いいか、俺にだってなあ、お得意はいるんだよ、お得意は。俺が洗ったシーツじゃなくちゃ困る、俺がアイロンかけたワイシャツじゃなくちゃ嫌いやだ——
そう言う人がね、何人もいるんだよ。
商売っていうのはそういうもんなんだ」

②8寅次郎紙風船

酔った寅次郎に「ケチなクリーニング屋」と
くさされた小学校の同窓生（東八郎）の言葉





「あのね、生きてく為には、
誰だって働かなくちゃいけないの！」

⑬ 寅次郎恋せつれ

俺たちは口から出まかせ
インチキくさい物売ってよ、
客も承知でそれに金え払う、
そんなところでおマンマいただいてんだよ。

⑭ 寅次郎物語



九州唐津の踊子(春川ますみ)と



踊子「こんな景色のよか所へ来て、暗か所で

女の裸見てどこがよかつかねえ」

寅次郎「別に裸を見る訳じゃねえよ、姐ねえさんの芸を
見に来たと思えば腹も立たねえだろう」

⑭寅次郎子守唄

おい、労働者諸君、
君らもハンマーを捨て、
ペンを取れ。
聞こえているのか。

⑯葛飾立志篇

学問がくもんを志こころしたこともあった



「困ったあ……」

御前様、お馴染みの名台詞

①男はつらいよ ほか

「何といたって手に職のある人は
強いですよねえ」

博の言葉

③夜霧にむせが寅次郎



ボンシユウ「うめえなあ」

寅次郎「ああ、働いた後だからな。

労働者ってのは、毎日うまいめし
喰ってんのもかもしれねえな、おい」

③寅次郎恋愛塾

博、お前もムキになって

社長になりたがるこたあねえぞ、

これがいい見本だよ、せいぜいいつてタコどまり、
な、働きゃ働くほどこうやって、

苦労しよい込んでいるんだから、な。

⑥純情篇



働くっていうのはな、
博みてえに、女房のため、子供のため、
額に汗して、真っ黒な手えして
働く人達のことをいうんだよ。



③ 寅次郎物語

「要するに、古いお得意にしがみついているだけなんだよ、
社長の営業のやり方は、
そういうお得意ってのは、
儲かる仕事は大きな工場に出しておいて、
手間ばかりかかってどこにも引き受け手のないような
仕事をうちに押しつけて来るんだ。
今日だってそうなんだ、
急ぎの仕事だから割り込ましてくれって、
冗談じゃないって言うんだよ。
最初から赤字って分かっている仕事なんだからなあ」

博の言葉



② 口笛を吹く寅次郎



さしづめ

インテリだな

労働者諸君、
田舎の御両親は元気かな。
たまには手紙を書けよ。

④ 寅次郎 真実一路



口
上

角は一流デパートで下さい頂戴でいただきますと、七百が六百、五百は下らない品物、今日はそれだけ下さいとは言いません、ねえ。浅野内匠頭あさののたくのみじゃないが腹切ったつもり、……どうです、五百が三百、二百が五十、貧乏人の行列だ、持っていきやがれ、このコジキヤロー、チキショー!

(②続男はつらいよ)

おう?.....
手前さしづめインテリだな。

②続男はつらいよ



インテリというのは自分で考えすぎますからね、
そのうち俺は何を考えていたんだろうって、
分かんなくなってくるわけなんです。
つまり、このテレビの裏っ方でいいますと、
配線がガチャガチャにこみ入っているわけなんですよね、
ええ、そういう点^ま私なんか線が一本だけですから、
まア、いつてみりゃ空ッポといましようか、
叩けばコーンと澄んだ音がします、
なぐってみましようか。

③フーテンの寅



この「櫻」って字がねえ、面白うござんしてね、
木ヘンに貝ふたつでしょう、
それに女ですから二かいの女がキにかかる
ところ読めるんですよ。

①男はつらいよ

さくらの見合いの席で



寅次郎 「んなくよくよするこたないって、ね。

昔からよく言うじゃないか、なあ、

なんだいあの、

お盆がこうひっくりかえっちゃってさ、

中かたの水は、あれは、

かえっちゃ来ねえんだろ？」

博 「覆水盆にかえらず、ですか」

寅次郎 「そうだよ、それだよ」



②翔んでる寅次郎

ああ、工場か。残業なんかもあるんだろう、
しかし、同じ年頃の同僚が流行歌手の噂なんかして

きやあきやあ騒いでいるのに、

こうやってむずかしい本を読んで勉強してるんだ——偉いなあ。

——お姐さん、こちらにコーヒーのお代わりさしあげて。

喫茶店で本を読んでいる大学助手の礼子(櫻山文枝)に



①葛飾立志篇

玩具の商売をしていて



そうそう、よく知ってるね、おばちゃん。

今ね、電気のことを英語でもって

コンピューターてえの。

そういうこと知らなきゃ孫に笑われちゃうから。

⑳ 寅次郎紙風船

どうして日本とアメリカが

仲良くしなきゃいけないんだ。

いいか、あの黒船が浦賀の沖へ来て、

徳川三百年天下太平の夢が破られて以来、

日本人はずっと不幸せなんだぞ。

㉑ 寅次郎春の夢

おばちゃんが日米親善を訴えたので



そうか、

僕が会話でいこうというのに、

君は暴力で解決しようというのか、

上等じゃねえかよ、

血の雨降らしてやるよ、チキショー!



③フーテンの寅

寅次郎「何だ、お前ら知らねえのか……」

ほら、ミドリはコトナルものよ、アジなるものよって……

イニシエの言葉にあるだろう、

つまり僕たち二人はそういうケースなんだ」

さくら「わかる？」

博「縁は異なるもの味なものことだろう」



⑦奮闘篇

先ず最初に、今の時代は、店に座ったままダンゴを買いに来る客を待っているようでは、駄目なんじゃないかな。

もっと積極的に。例えば、社長の所でピラを印刷して、これを新聞に折り込み各家庭に配る。

……あとは月に一度の値引きセール。ダンゴを半値にしちゃう。ぜんぜんもうけはないよ。しかし、そのことによって、とらやのおダンゴがこんなにもおおいしかったのかなあという事をいき渡らせる。

……まだあるんだよ。

そうやって客がどんどん増えていく。するとこの店が狭くなる、な。そこで思い切ってこの店をぶっ毀す。その跡に鉄筋コンクリートのビルをぶっ建てる。一階が店、二階がお座敷、三階が老夫婦の隠居所だ。その頃裏の工場はつぶれているから、労働者ごと買い取ってこれをダンゴ工場にする。もう手でこんなクチャクチャクチャ

クチャ団子なんかやんない。これはオートメーション。機械の穴からコトンポロポロ、コトンポロポロ——勿論汚い年寄りなんかは店へ置かない。若い新鮮なおとめが六人ぐらい、揃いの浴衣をピシッと着て、いらっしやいませ、またどうぞ。

支店も増やす。

北は北海道、南は沖縄まで「とらやチェーン」がずらーっと、ならぶ。勿論テレビのコマーシャルにも金はかけますよ。

「草ダンゴでおなじみのとらやが提供の浪曲劇場。いよお、へ泣くな、よしよし、ねんねしな、あーあ、坊やの、かあちゃん、どこいった……」

② 寛次郎わが道をゆく

後継者をどうするか——とらやの頭の痛い課題である



「成程。生きてる間は夢だというのは、
確かセックスピアの言葉でしたな」

⑤ 寅次郎ハイビスカスの花



さくら、それじゃあお前何かい、
お見合いつてえのはフウケン主義だと、
こういうのか。
そりゃあちよつと考え違いじゃねえかなあ。

① 男はつらいよ



真実をまげて伝えることはないでしょう。

⑱ 真次郎純情詩集



勝手にやったらいいんだい。

民主主義の世の中だ。

なあ、交際だろうとキッスだろうと、

ペッチングだろうと、

お好きなようにしなさいよ。

① 男はつらいよ



尻っぺタの青いインテリがとかくかかりがちな
イロノーゼって奴やつですぬ。
つまり、色気ってものが頭にのぼってくるんで、
それでイロノーゼです。
これはすぐ治るんじゃないですか。

③フーテンの寅



真知子「ああ、藤村とうむらの詩よ。

——そうだね、遊子ゆうし悲しむの遊子って、

寅さんみたいな人のことを言うのね、きつと」

寅次郎「とんでもねえ、俺みたいな意気地いげぢなしが勇士だなんて」

④寅次郎サラダ記念日

小諸こもろなる古城のほとりにて





それを言ったら
おしまいだよ

いや、だけどね、レントゲンだってやっぱりね、あれニッコリ笑って映した方がいいと思うの、だって明るく撮れるもの、その方が。

⑫ 口笛を吹く寅次郎



口上

船員さん船員さん、お手にとつて見てやってください。え、神田は音響堂というね、有名なレコード店でわずか三十万の税金で投げ出した品物。え、札幌はね、一流デパートでもつてね一枚五百円する品物、今日は協定違反。二枚で百円！ ねえ、……お父さん、家族づれ！

(⑩寛次郎忘れな草)

うるせえ！
そうか、おいちゃん、
そういうことを言うかい。
それを言ったらおしまいだよ。

⑧寛次郎恋歌



心の傷を持つ隆子（秋吉久美子）に

死ぬなんて言葉は、
簡単に口に出さない方がいいよ。

③ 寅次郎物語



リリー「……私の初恋の人……」

寅さんじゃないかしらね」

寅次郎「リリーちゃん、それは悪い冗談だよ。

俺は遊び人だから分かるよ、でも、

この家の住人はみんなカタギだから、

まに受けちゃう」

① 寅次郎忘れな草



邦男（布施明）は、元婚約者のひとみ（桃井かおり）に切ない思いを抱いている



邦男「そういう言い方には、僕抵抗感じるな」

寅次郎「抵抗？ はあ、お前さしづめインテリだな。

ああ、それじゃあ余計女にやもてないよ。

だめだよ、あきらめな」

②3 翔んでる寅次郎

妙なこと言うねえ。それじゃ何かい、俺みたいな下等な人間だから恋をして、先生みてえな上等な人間は恋をしないと、おいちゃんはどう言うのか。

⑩ 寅次郎夢枕

幼馴染みの千代（八千草薫）をめぐって、寅次郎と大学助教授（米倉斉加年）が恋の火花を散らす



綾 「寅さん、人間はなぜ死ぬんでしょうねえ」

寅次郎 「人間？ うーん、そうねえ。まあ、なんて言うかなあ、まあ結局あれじゃないですかね、あの、こう人間が、いつまでも生きていると、あの、こう丘の上がね、人間ばかりになっちゃうんだよ。うじゃうじゃ、うじゃうじゃメンセキが決まっているから。で、みんなでもって、こうやって満員になって押しくらマンジュウしているうちに、ほら足の置く場所もなくなっちゃって、で、隅っこに居るやつが、『お前、どけよ』なんてやると、ア、アーなんて海の中へ、ポチャンと落っこって、アップ、アップして『助けてくれ！ 助けてくれ！』なんつってね、死んじゃうんだよ。まあ、結局、そういうことになってるんじゃないですかね、昔っから。うん、まあ、深く考えないほうが、それ以上は」

馬鹿野郎笑わせるない。

何いってやんだい、

女の手ひとつにぎれねえようなデクの棒が

何うまいこと出来るんだい。

おい！ 早まっちやいけねえ。
え！ 命を粗末にするんじゃないやねえったら。
死んで花実が咲くものかっていうじゃねえか、
おいこら！



⑮ 寅次郎相合い傘

寅次郎「幸せになれるんだろうな、お前」
すみれ「うん、きつとなる」
寅次郎「もし、ならなかったら、
俺は、承知しねえぞ、いいな」

すみれ（伊藤蘭）は死んだテキヤ仲間の忘れ形見。親代わりを気取る寅次郎だったが、ある日すみれの恋人が現れて



⑳ 寅次郎かもめ歌

そんな筈はねえ、そんな筈はねえよ……。

どんなに年とって、これだけは憶えている筈だよ。
たのむよ、俺だよ、思い出してくれよ。

俺、一目見た時もう判ったもんな。

三十八年間、一日だって忘れたことはありやしねえよ……

俺や死ぬまでに一ぺんでいい、

口に出してあんたのこと呼んでみたかったんだ……

おっかさん。あんたの倅こがれの、寅次郎だよ！



「ぼくにも言わしてくれよ、たまには。

……そりゃぼくは職工です。

大学にも行けませんでした。

そんなぼくが満男にとれほど夢を託しているか、

そんなこと、子供を持ったことのない兄さんに

分かってたまるか！」

博の言葉



ええ、貧乏人つつうものはな、

一番つらくって、おめえ、さみしい時はよ、

金持ちに札束で頼っペタぶったたかれる時だい。

金がねえんだから、だから孝行娘を

妾に出さなきゃならねえんじゃねえか、なあ。

そのつらさ悲しさにじっと堪えてるんだい。

おめえみたいにケツの青い若造に

この悲しさが分かるかバカヤロウ。



③フーテンの寅

満 男「大学へ行くのは何のためかな」

寅次郎「決まってるでしょう、これは勉強するためです」

満 男「じゃあ、何のために勉強すんかな」

寅次郎「……ん？　そういうむずかしいことを聞くなって言ったらう、お前に。……つまりあれだよ、ほら、人間長い間生きてりや色んなことにおつかるだろう、な。そんな時に俺みたいに勉強してない奴は、この振ったサイコロで出た目で決めるとかその時の気分で決めるよりしょうがないんだ、な。ところが、勉強した奴は、自分の頭でキチンと筋道を立てて、はて、こういう時はどうしたらいいかなと考えることができるんだ。だからみんな大学へ行くんじゃないか。だろう？　——久しぶりにキチンとしたこと考えたら頭が痛くなっちゃった」



④寅次郎サラダ記念日



らしいか、世の中
ってのはなア

そおゆう過去はふれない方がいいんじゃないの？
お互いにいろいろあるからさあ。

リリーに結婚したことはあるのかと問いつめられて



② 寅次郎ハイビスカスの花

口
上

この世に生を受けた男と女、みんな、その見えない糸によって結ばれています。

たとえどんなに愛し合った男と女でも、この運命の糸がつかってなければ、決して結ばれることはない、そこに人間の悲劇がある。ね、今日は、あたたかい日曜日、いく百組いく千組のアベックが手に手をとって、そいそと歩いているが、果たしてこの中の何組がその運命の糸によって結ばれるか——。さ、私がここに手に取りいできましたこの本、この本を見ることによって、絶望する人もいるかもしれないが——、今のお客ね、あれ絶対結ばれない、分かるんだから、顔観れば。相に出ている。人が話している途中で、「行こうよ」、こりやだめだ……。

(20 寅次郎頑張れ！)

あゝあ、嫌な世の中だねえ。

⑧ 寅次郎恋歌



タコ社長の行方が知れず、葬式の段取りまで考える寅次郎

万一って事があるじゃないか。

その万一にそなえて、

万事手ぬかりなくしてやるというのが、

近所のつき合ってもんじゃないか、おばちゃん。



② 噂の寅次郎

な。みんなこういうふう

若い頃の夢とはほど遠い現実生活を

営んでいるというわけだ。



① 寅次郎わが道をゆく



あのー、亭主に死に別れた女房が、
他の男と再婚する場合に、
やはり一周忌まで待つべきでしょうか、
それとも三回忌までがまんしなきゃならない
もんなんでしょうか――。
ええ、そのへんのところは、あの、
お経には何と書いてありますか。

⑳寅次郎紙風船

大丈夫。

そんな心配することはありませんよ。

男の子はね、

親父と喧嘩して家を出るくらいでなきや

一人前とはいえません。

㉑口笛を吹く寅次郎





いいか、ピアノなんて物はなあ、
 広いお屋敷の芝生の上に白い犬が転がってるような、
 そういう家の娘がレースの垂れ下がった応接間で
 ポロンポロンと上品に弾くもんだよ。
 お前たちの部屋はなんだ、おい。
 あそこへピアノが入るのか？ あの入り口、え？
 棺桶だってお前、タテにしなきゃ入らないよ。
 笑わせんじやないよ全く、お前。

⑩寅次郎忘れな草

おう、そうだよ、
 人間あきらめが肝心だよ。

①男はつらいよ



満 男「人間は、何のために生きてんのかな」

寅次郎「うん？ 難しいこと聞くなあ、え？」

うーん、何て言うかな、ほら、

ああ、生まれて来てよかったなって

思うことが何べんかあるじゃない、ねえ。

そのために人間生きてんじゃないのか」

「いいか博さん、家はねえ、商売やってんだよ、
無銭飲食なんて一番恥ずかしい犯罪だ、
泥棒のほうがよっぽどマシだ」

「善意だけじゃ済まされないことだってあるでしょ、世の中には」

さくらの言葉



⑳寅次郎物語

朋子「でも、宗派などは」
寅次郎「大丈夫大丈夫、

念仏唱えりゃ同じようなもんです」

法事に代理坊主でのぞむ



㉑口笛を吹く寅次郎

一緒に気ままな旅をしたいと言う風子（中原理恵）に、喜びをかくして語る寅次郎



風子ちゃんよ、悪いことは言わねえ、
な、お前この町で一生懸命働いてな、
真面目で正直な男をつかまえて所帯を持って。
そらあ長い間には多少退屈なこともあるだろうよ、でもな、
五年十年たって、あー、あん時寅さんの言ってたことは
やっぱり本当だったんだなって、
きっと思いあたるときがあるよ、な。

⑬夜霧にむせぶ寅次郎

「自分の醜^{みにく}さに苦しむ人間は、
もう醜^{みにく}くはありません」

悔やむ寅次郎に博の言葉



⑭寅次郎真実一路

老画伯(宇野重吉)へかつての
恋人・志乃(岡田嘉子)の言葉



「私、この頃よく思うの、

人生に後悔はつきものなんじゃないかしらって。

——ああすりゃよかったなああっていう後悔と、

もう一つは、どうしてあんなことを

してしまったんだろう、という後悔……」

⑰ 寅次郎夕焼け小焼け

成程、冬の次は春ですか。

④④ 寅次郎サラダ記念日



おい、リリーよ。
いやなことは忘れてさ、俺と呑もう。



⑪ 寅次郎忘れな草

俺には、

難しいことはよく判らねえけどね、
あんた、幸せになってくれりゃあいいと
思ってるよ。



⑩ 葛飾立志篇

丹後から飛び出してきたかがり(いしだあゆみ)。江の島で逢瀬
を持った寅次郎だが、固くなるばかりで想いを打ち明けられない



「私が会いたいなあと思ってた寅さんは、
もっと優しくて楽しくて、
風に吹かれるタンポポの種みたいに、自由で気まままで――。
せやけど、あれは、旅先の寅さんやったんやね。
今は家に居るんやもんね。
あんな優しい人たちに大事にされて」

②寅次郎あじさいの恋

「竜造さん、人が褒め合うとういうことは
これは実に良いことだね。
お互いに褒め合わなきゃいけない。
褒め合ってこそ人間は少しずつ
向上していくんじゃないかな」

⑩寅次郎夢枕

御前様の言葉



例えば、日暮れ時、

農家のアゼ道を一人で歩いていると考えてごらん。

庭先に、りんどうの花がこぼれるばかりに

咲き乱れている農家の茶の間、

灯りがあかあかとして、父親と母親がいて、

子供がいて、賑やかに夕飯を食べている。

これが……これが本当の、

人間の生活というものじゃあないかね、君。



⑧ 寅次郎恋歌

「人間は絶対に一人じゃ生きていけない。

さからっちゃあいかん。

人間は人間の運命に、さからっちゃあいかん。

そこに早く気がつかないと、

不幸な一生を送ることになる」

博の父（志村喬）の言葉



⑧ 寅次郎恋歌



ふーん、
そんなもんかね

そりゃねえ。好きな女と添いとげられりゃあ、
こんな幸せはないけどさ、
しかしそうはいかないのが世の中なんだよ、え？
みんな我慢して暮らしてるんだから、
男だって、女だって。

② 寅次郎頑張れ!



口 上

……七ツ長野の善光寺、八ツ谷中の奥寺で竹の柱に萱の屋根、手鍋提げてもわしゃいとやせぬ、ねえ、信州信濃の新ソバよりもあたしやあなたのそばがよい、曲がった数字が七ツ、これ合わせて、さアいくら、ね、腹切ったつもり。はい、五百円でいこう、五百円だ。

お、こちらのお兄イさん、いい買物をしたねえ、調子に乗って損な商売しちゃったなア。

おかあさんもいくの、はいどうぞ。よーし、こうなったらもうヤケのヤンパチ陽ヤケのナスビ、色が黒くて食いつきたいが、あたしや入歯で歯がたたないよ。……はい持ってって、持ってって、五百円、五百円……

(⑩寅次郎忘れな草)

よお!

何だ、お前……。

未だ生きてんのか……いやだねえ。

⑥純情篇



なんだよ、降って来やがった。
一寸先は闇だなあ。

②④ 寅次郎春の夢



「まあ、あたり前の顔して一緒に暮らしてるけど、
夫婦にはそれぞれいろんな話があるからねえ」

③⑥ 花も嵐も寅次郎

おいちちゃんの言葉



「私、幸せだった、あん時」

リリー（浅丘ルリ子）の言葉



⑤ 寅次郎ハイビスカスの花

リリー。
俺と所帯を持つか。

つい溢れ出た寅次郎の真情



⑤ 寅次郎ハイビスカスの花

「私も葬式より結婚式の方が
ありがたいな、めでたくて」

御前様の言葉

⑬夜霧にむせぶ寅次郎

「美しいのは

その人の罪じゃありませんからね」

博の言葉

⑫寅次郎あじさいの恋

弟の死を悲しむふみ（松坂慶子）に



そりゃ今は悲しいだろうけどさ、ね。
月日がたちやどんどん忘れていくもんなだよ。
忘れるってのは本当にいい事だな。

②⑦ 浪花の恋の寅次郎

「いいわねえ、

生まれた家が残ってるなんて」

③⑧ 知床慕情

りん子（竹下景子）の言葉



男ってえものはな、
引き際ぎわが肝心よ。

②⑦ 浪花の恋の寅次郎



「何考えてんだらうねえ、
男なんて」

②⑤ 寅次郎ハイビスカスの花



リリー（浅丘リ子）の言葉

やっぱり、二枚目はいいなあ。
ちよっぴり焼けるぜ。



③花も嵐も寅次郎

「苦勞が身について、
臆病になってしもうたんやねえ。
何事につけ」

かがり(いしだあゆみ)の言葉



②寅次郎あじさいの恋

「なんでも隠れてやることってのは、
面白いもんですよ」

おいちちゃん
の言葉

⑱ 寅次郎純情詩集

しっかり押さえていろ、
俺今一一〇番に電話してやるからな……
博、一一〇番てのは何番だっけ？

とらやに空き巢侵入



④ 新男はつらいよ

「本当に変わってる人は、
自分では気がつかないもんですよ」

博の言葉



⑩花も嵐も寛次郎

「馬鹿だねえ……」

おいちちゃん、お馴染みの名文句



①男はつらいよ ほか



「心配事が一つぐらいあった方が
長生きすると言います」

⑦幸福の青い鳥

駄目だ、駄目だ、駄目だ。

あんな男か女か分からねえような奴。^{やつ} ええ？

心持ちがやさしいってね、

やっぱりこう見てくれはなんていうか、^ひ陽に焼けてさ、
とことなくなったのもしい男でなくっちゃ。

⑨柴又慕情

不幸せそうに見える歌子（吉永小百合）に
良い縁を見つけないと言いつつ出ず寅だったが



「たった一つの言葉が
人間を死に追いやることだって
あるんだからなあ」

おいちちゃんの言葉



⑦浪花の恋の寅次郎

お偉いお方でもよ、生身の人間だ、
万が一ってことがあるからな。

あどけなくて人を疑うことを知らない花子(榊原るみ)を、御
前様のもとに預けてはみたものの寅次郎の心配の種はつきない



⑦奮闘篇

みなさん、なんか誤解なすって
らっしゃるんじゃないですか。
私は別に結婚することを
あきらめたりしちやいませんよ。

⑫口笛を吹く寅次郎



「ああ、これ、糊のりの匂い。

——ふう、今夜はぐっすり眠れそう」

⑪寅次郎忘れな草

とらやの二階で、リリーの言葉





達者でな、あばよ

そう、俺はね、
風にはこう逆らわないようにしてるんだよ。
風に当たると疲れちゃうから。

④7 押啓車寅次郎様



口 上

めぐり逢いが人生ならば、素晴しき相手にめぐり逢うのも、これ人生であります、生者必滅せいじやひつめつエシヤジョウリ、会うは別れの初めとは誰がいうた、……眉と眉のあいだのこの印堂……お嬢さん、あなたここが素晴しく輝いております、いい愛情にめぐまれておるかもしれない、しかし、月にむら雲、花に風、一寸先の己れが運命わからないところに人生の哀しさがあります……とか何とかいって四角い顔した親父おやじがデタラメいってやがると思ってるでしょう……本当いうと、これ口から出まかせ、でもね、長い間この商売をしてメシを食っていると、百に一つは当たることがあるんだよ。

(⑦ 奮闘篇)

……夏になったら鳴きながら、
必ず帰ってくるあの燕つばきさえも、
何かを境にぱったり姿を
見せなくなることだってあるんだぜ……。

⑦ 奮闘篇



母親と離れて暮らす泉（後藤久美子）の
ために九州に駆け付けた満男をかばって



私のような出来損ないが、
こんなことを言うと言われるかもしれませんが、
私は、甥の満男は間違ったことをしていません。
慣れない土地へ来て、
寂しい思いをしているお嬢さんを慰めようと、
両親にも内緒で、はるばるオートバイでやって来た満男を、
私はむしろ、よくやったと褒めてやりたいと思います。

⑫ ぼくの伯父さん

泣きな。な、いくらでも。

—— 気のすむまで泣いたらいいんだよ、な。

⑪ 浪花の恋の寅次郎



「いやねえ、別れって」

はくらの言葉



⑤ 寅次郎ハイビスカスの花

⑥ 柴又より愛をこめて

みんなのその優しい心が、
かえって俺の心の傷を深くする。
世間の冷たい風に吹かれてくるよ。



あ、さくらと、博と社長によく言ってくれよ。
あ、そうだ、俺が夕べここで話した事を忘れずに、
人生についてよく考えろって。
ぼけっとしている間に
あッという間に骸骨になっちゃうんだから、人間は。

②噂の寅次郎



かがり「もう、会えないのね」

寅次郎「いや、ほら、風がな、風がまた

丹後の方に吹いてくることもあらあな」

②寅次郎あじさいの恋

かがり(いしだあゆみ)は、母親と幼い娘
をかかえて丹後から出ることはできない



……若し……十年、二十年たって、
雪の降る寒い夜、

寝つかれぬままに昔のことを

お思いになるようなことがございましたら、

ああ、その昔、湯の山に、

寅という馬鹿な男がいたっけな、

とでもお思いになってください……ご免なすって。



③フーテンの寅

リリー「うん、じゃあまたどっかで会おう」
寅次郎「ああ、日本のどっかでな」

①寅次郎忘れな草



手紙（速達）

拜啓、この間は俺が悪かった。

九州の山奥で朝な夕な反省をしている。もう二度と柴又は帰らない。そうすればお前達に迷惑をかけずにすむからな。遠い旅の空から、俺は死ぬ日までお前達の幸せを祈り続けている。

あばよ。妹へ

寅次郎

追伸 最後のめいわくだ。宿賃を貸してくれないか、頼む

寅さん50年のあゆみ

作品紹介

⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
男はつらいよ 奮闘篇	男はつらいよ 純情篇	男はつらいよ 望郷篇	新 男はつらいよ	男はつらいよ フーテンの寅	続 男はつらいよ	男はつらいよ	タイトル
S 46・4	S 46・1	S 45・8	S 45・2	S 45・1	S 44・11	S 44・8	公開年月
山田洋次	山田洋次	山田洋次	小林俊一	森崎 東	山田洋次	山田洋次	監督
朝間義隆	山田洋次 宮崎 晃	山田洋次 山田洋次 宮崎 晃	山田洋次 宮崎 晃	山田洋次 小林俊一 宮崎 晃	山田洋次 小林俊一 宮崎 晃	森崎 東	脚本
榊原るみ	若尾文子	長山藍子	栗原小巻	新珠三千代	佐藤オリエ	光本幸子	マドンナ
柳家小さん	田中邦衛 宮本信子	森繁久彌 井川比佐志	財津一郎 三島雅夫	香山美子 花沢徳衛 河原崎健三	山崎 努	志村 喬	主なゲスト

⑩	⑨	⑧	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
男はつらいよ 寅次郎恋歌	男はつらいよ 柴又慕情	男はつらいよ 寅次郎恋歌	男はつらいよ 寅次郎忘れな草	男はつらいよ 私の寅さん	男はつらいよ 寅次郎恋やつれ	男はつらいよ 寅次郎子守唄	男はつらいよ 寅次郎相合い傘	男はつらいよ 葛飾立志篇
S 46・12	S 47・8	S 47・8	S 48・8	S 48・12	S 49・8	S 49・12	S 50・8	S 50・12
山田洋次	山田洋次	山田洋次	山田洋次	山田洋次	山田洋次	山田洋次	山田洋次	山田洋次
朝間義隆	山田洋次 朝間義隆	山田洋次 朝間義隆	山田洋次 朝間義隆	山田洋次 朝間義隆	山田洋次 朝間義隆	山田洋次 朝間義隆	山田洋次 朝間義隆	朝間義隆
池内淳子	吉永小百合	吉永小百合	浅丘ルリ子	岸 恵子	吉永小百合	十朱幸代	浅丘ルリ子	榊山文枝
志村 喬	宮口精二 佐山俊二	宮口精二 佐山俊二	織本順吉 毒蝮三太夫	前田武彦 津川雅彦	宮口精二 高田敏江	月亭八方 春川ますみ 上條恒彦	船越英二 岩崎加根子	大滝秀治 小林桂樹

40	49	48	47	46	45	44
男はつらいよ お帰り寅さん	男はつらいよ 寅次郎ハイビスカスの花 特別篇	男はつらいよ 寅次郎紅くれないの花	男はつらいよ 拝啓車寅次郎様	男はつらいよ 寅次郎の縁談	男はつらいよ 寅次郎の青春	男はつらいよ 寅次郎の告白
R 1・12	H 9・11	H 7・12	H 6・12	H 5・12	H 4・12	H 3・12
山田洋次	山田洋次	山田洋次	山田洋次	山田洋次	山田洋次	山田洋次
山田洋次 朝原雄三	朝間義隆 山田洋次	朝間義隆 山田洋次	朝間義隆 山田洋次	朝間義隆 山田洋次	朝間義隆 山田洋次	朝間義隆 山田洋次
後藤久美子 浅丘ルリ子	浅丘ルリ子 後藤久美子	浅丘ルリ子 後藤久美子	かたせ梨乃	松坂慶子	風吹ジュン 後藤久美子	吉田日出子 後藤久美子
夏木マリ 池脇千鶴 桜田ひより	江藤 淳	夏木マリ 田中邦衛	牧瀬里穂 小林幸子	島田正吾 光本幸子	永瀬正敏 夏木マリ	山口良一 夏木マリ

43	42	41	40	39	38	37	36	35
男はつらいよ 寅次郎の休日	男はつらいよ ぼくの伯父さん	男はつらいよ 寅次郎心の旅路	男はつらいよ 寅次郎サラダ記念日	男はつらいよ 寅次郎物語	男はつらいよ 知床慕情	男はつらいよ 幸福(しあわせ)の青い鳥	男はつらいよ 柴又より愛をこめて	男はつらいよ 寅次郎恋愛塾
H 2・12	H 1・12	H 1・8	S 63・12	S 62・12	S 62・8	S 61・12	S 60・12	S 60・8
山田洋次	山田洋次	山田洋次	山田洋次	山田洋次	山田洋次	山田洋次	山田洋次	山田洋次
朝間義隆 山田洋次	朝間義隆 山田洋次	朝間義隆 山田洋次	朝間義隆 山田洋次	朝間義隆 山田洋次	朝間義隆 山田洋次	朝間義隆 山田洋次	朝間義隆 山田洋次	朝間義隆 山田洋次
後藤久美子 夏木マリ	後藤久美子 夏木マリ	竹下景子	三田佳子	秋吉久美子	竹下景子	志穂美悦子	栗原小巻	樋口可南子
宮崎美子 寺尾 聡	檀 ふみ	淡路恵子 柄本 明	尾美としのり 三田寛子 鈴木光枝 河内桃子	五月みどり	淡路恵子	有森也実	川谷拓三	平田 満 松村達雄 初井言榮

S.46 (1971)	S.45 (1970)	S.44 (1969)	年
<ul style="list-style-type: none"> ●博、独立を目指す……⑥ ●寅次郎の母・菊、京都より上京。⑦ 	<ul style="list-style-type: none"> ●寅次郎、伊勢・湯の山温泉で番頭を。③ ●とらや一家ハワイ旅行を逸す。④ ●寅次郎、千葉・浦安の豆腐屋で働く。⑤ 	<ul style="list-style-type: none"> ●寅次郎、帰還す。① ●妹さくらが博と結婚。① ●さくらと博夫婦に満男誕生。② ●寅次郎、京都にて生き別れていた実母に会。② 	寅さん
<ul style="list-style-type: none"> ●横綱・大鵬引退す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●1ドル11360円の固定相場制終わる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「モーレッツ」が流行語となる。 	政治・社会
<ul style="list-style-type: none"> ●大映倒産。 ●徳川夢声、山茶花究、桂文榮（八代目）、左卜全、横山エンタツ、 	<ul style="list-style-type: none"> ●東京・京橋に東京国立近代美術館フィルムセンター開館。 ●人形町の寄席・末廣廃業。 ●榎本健一、円谷英二、内田叶夢、月形龍之介没。 ■『家族』公開。 	<ul style="list-style-type: none"> ●昭和43年度の国民総生産が世界第2位と発表される。 ●米宇宙船アポロ11号月面着陸す。 	映画

S.49 (1974)	S.48 (1973)	S.47 (1972)	
<ul style="list-style-type: none"> ●寅次郎、津和野で未亡人・歌子と再会。⑩ ●寅次郎、呼子で赤ん坊を預かる。⑭ 	<ul style="list-style-type: none"> ●満男、幼稚園へ通う。⑪ ●寅次郎、綱走で歌手のリリィとめぐり逢う。⑪ ●とらや一家九州旅行す。寅次郎は留守番。⑫ 	<ul style="list-style-type: none"> ●博の実母死す。寅次郎、備中高梁へ。⑧ ●寅次郎、金沢で歌子と知り合う。⑨ ●寅次郎、信濃路にて登と再会。⑩ 	<ul style="list-style-type: none"> ●博の実母死す。寅次郎、備中高梁へ。⑧
<ul style="list-style-type: none"> ●長嶋茂雄、現役引退、巨人監督就任。 	<ul style="list-style-type: none"> ●田中首相、金脈問題で退陣。 ●「ハイセイコーブーム」。 	<ul style="list-style-type: none"> ●冬季オリンピック札幌大会開催。 ●田中角栄首相訪中、国交回復。 ●沖縄返還。 ●「パンダブーム」となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●冬季オリンピック札幌大会開催。 ●田中角栄首相訪中、国交回復。 ●沖縄返還。 ●「パンダブーム」となる。
<ul style="list-style-type: none"> ●坂本武、花菱アチャコ、田坂具隆、山本嘉次郎没。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「エクソシスト」大ヒットす。 ●三島雅夫、織田政雄、菅井一郎、南都雄二、若水やエ子、早川雪洲、菊田一夫、古今亭志ん生（五代目）、浪花千栄子没。 	<ul style="list-style-type: none"> ●日活ロマンポルノ騒動起こる。 ●藤純子引退す。 ●飯田蝶子、北竜二、伊志井寛、薄田研二、川頭義郎、柳家金語楼、上田吉二郎没。 ■『故郷』公開。 	<ul style="list-style-type: none"> ●東映やくざ映画が実録シリーズ主流に。 ●三島雅夫、織田政雄、菅井一郎、南都雄二、若水やエ子、早川雪洲、菊田一夫、古今亭志ん生（五代目）、浪花千栄子没。

重宗和伸没。

S.54 (1979)	S.53 (1978)
<ul style="list-style-type: none"> ●寅次郎、北海道・支笏湖で知り合ったひとみの仲人を務む。^⑳ ●満男、英語塾に通う。^㉑ ●とらやにアメリカ人の下宿人。^㉒ 	<ul style="list-style-type: none"> ●寅次郎、阿蘇の山里で尊敬を受ける。^㉓ ●信州で博の父・颯一郎に会い、木曾を旅する。^㉔
<ul style="list-style-type: none"> ●インペーターゲーム大人気。 ●ソ連軍、アフガニスタンに侵入。 ●東京サミット開催。 ●ソ連軍、アフガニスタンに侵入。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新東京国際空港開港。 ●日中平和友好条約調印。 ●植村直己単独北極点到達。 ●江川卓、巨人軍と電撃契約。
<ul style="list-style-type: none"> ●ジョン・ウエイン死す。 ●テレビ局による映画製作増加。 ●水谷八重子、三井弘次、植村謙二郎、野村浩将、三遊亭圓生(六代目)、春風亭柳橋(六代目)、藤本真澄、森岩雄、H・ホークス、J・ルノワール没。 	<ul style="list-style-type: none"> ●横溝正史ブーム。 ●『スター・ウォーズ』大ヒットす。 ●佐野周二、田宮二郎、花柳喜章、河野秋武、中平康、大蔵貢、桂文治(九代目)、シャルル・ポワイ工没。

S.52 (1977)	S.51 (1976)	S.50 (1975)
<ul style="list-style-type: none"> ●寅次郎、四国大洲の殿様の寵愛を受く。^⑬ ●寅次郎、長崎・平戸島で藤子の家に寄宿。^⑭ 	<ul style="list-style-type: none"> ●満男、小学校入学。^⑮ ●寅次郎、兵庫・龍野で芸者・ぼたんと意気投合。^⑯ ●寅次郎、綾の死に遭遇す。^⑰ 	<ul style="list-style-type: none"> ●寅次郎、離婚したリリーと函館で再会。^⑱ ●寅次郎、学問の道を志す。^⑲ ●寅次郎、山形・寒河江の知人の墓にまじる。^⑳
<ul style="list-style-type: none"> ●青酸コーラ無差別殺事件。 ●日本赤軍、日航機をハイジャック。 ●領海12カイリ、漁業水域200カイリに。 	<ul style="list-style-type: none"> ●鹿兒島で五つ子誕生。 ●毛沢東中国共産党主席死す。 ●ロッキード事件で田中前首相逮捕。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新幹線、博多まで開通す。 ●エリザベス英女王夫妻来日。 ●広島カープ初優勝。
<ul style="list-style-type: none"> ●C・チャップリン死す。 ●田中絹代、豊田四郎、渡辺篤、近衛十四郎、高田稔、進藤英太郎、望月優子、城戸四郎、エルヴィス・プレスリー没。 	<ul style="list-style-type: none"> ●家城巳代治、細川ちか子、石山健二郎、星十郎、古今亭今輔、大宮敏充、ジャン・ギャパン没。 ●東映太秦映画村開村。 ●『同胞』公開。 	<ul style="list-style-type: none"> ●宝塚歌劇『ベルサイユのばら』長谷川一夫演出で舞台化、大ヒットす。 ●坂東三津五郎(八代目)、守田勘彌、加東大介、三隅研次、清水将夫没。

S.57 (1982)	S.56 (1981)	S.55 (1980)
<ul style="list-style-type: none"> ●寅次郎、丹後でかがりと再会。²⁹ ●大分で知り合った三郎と螢子の恋をとりもつ。³⁰ 	<ul style="list-style-type: none"> ●瀬戸内海の小島で知り合ったふみと大阪で再会。²⁷ ●寅次郎・福岡・甘木市秋月に仲間を見舞う。²⁸ 	<ul style="list-style-type: none"> ●リリー、沖縄で倒れる。沖縄へ向かった寅次郎、リリーを看病す。²⁵ ●博夫婦、念願のマイホーム購入す。²⁶ ●北海道・江差で仲間の死を知り奥尻島へ墓参りに。²⁸
<ul style="list-style-type: none"> ●東北・上越新幹線開通す。 ●フォークランド紛争起こる。 ●三越事件。 ●ホテルニュージャパン火災。 	<ul style="list-style-type: none"> ●中国残留孤児初の正式来日。 ●米大統領にR・レーガン。 ●「窓ぎわのトットちゃん」大ベストセラー。 	<ul style="list-style-type: none"> ●大平正芳首相急死す。 ●モスクワ・オリンピック開催。日本、アメリカ、中国、西ドイツなどは不参加。 ●王貞治、野村克也現役引退。長嶋監督辞任。
<ul style="list-style-type: none"> ●志村喬死す。 ●佐分利信、中村翫右衛門(三代目)、三益愛子、江利チエミ、衣笠貞之助、斎藤寅次郎、岸田森、I・バーグマン、グレース・ケリー、W・オーツ、R・シュナイター、H・フォンタ没。 	<ul style="list-style-type: none"> ●この年より「映画の日」料金半額に。 ●木村功、伴淳三郎、五所平之助、伊藤大輔、中村登、渡辺邦男、川喜多長政、ルネ・クレール、W・ホルデン、N・ウッド没。 	<ul style="list-style-type: none"> ●山口百恵引退声明。 ●『影武者』カンヌ国際映画祭グランプリ。 ●嵐寛寿郎、東山千栄子、越路吹雪、伊藤雄之助、稲垣浩、渋谷実、S・マックイーン、A・ヒッチコック、D・ジャンセン没。 ■『遙かなる山の呼び声』公開。

S.59 (1984)	S.58 (1983)	
<ul style="list-style-type: none"> ●満男、中学へ入学す。³³ ●社長の娘・朱美結婚。³³ ●寅次郎、堅気になった登と盛岡で再会。³³ ●ふじ子の夫を捜しに鹿児島を旅す。³⁴ 	<ul style="list-style-type: none"> ●寅次郎、歌手のはるみと佐渡を旅する。³¹ ●博の父・鷹一郎の三回忌。³² ●寅次郎、岡山で代理坊主となり経を読む。³² ●博、父の遺産を社長の工場に全額投資。³² 	<ul style="list-style-type: none"> ●五百円硬貨発行される。
<ul style="list-style-type: none"> ●ロス疑惑騒動。 ●新しい紙幣が発行される。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ロサンゼルス・オリンピック開催。 ●江崎グリコ社長誘拐事件。 ●「おしん」ブーム。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ロッキード事件で田中元首相に有罪判決。 ●大韓航空機、ソ連軍機に撃墜される。
<ul style="list-style-type: none"> ●東京国立近代美術館フィルムセンターで火災。 ●長谷川一夫、柳永二郎、大川橋蔵、黒川弥太郎、内田良平、中川信夫、森谷司郎、フランソワ・トリュフォー没。 	<ul style="list-style-type: none"> ●片岡千恵蔵、中村鴈治郎(二代目)、小杉勇、桑山正一、河津清三郎、金子正次、沖雅也、山本薩夫、和田夏十、寺山修司、R・ニューエル、R・リチャードソン、D・ニフン、ルイ・ド・フュネス、モリス・ロネ没。 	<ul style="list-style-type: none"> ●『檀山節考』カンヌ国際映画祭グランプリ。 ●片岡千恵蔵、中村鴈治郎(二代目)、小杉勇、桑山正一、河津清三郎、金子正次、沖雅也、山本薩夫、和田夏十、寺山修司、R・ニューエル、R・リチャードソン、D・ニフン、ルイ・ド・フュネス、モリス・ロネ没。

S.63 (1988)	S.62 (1987)
<ul style="list-style-type: none"> ● 満男、高校生に。³⁹ ● 寅次郎、少年の母を捜して、和歌山、吉野、伊勢・志摩へ。³⁹ ● 満男、大学受験をひかえる。⁴⁰ ● 寅次郎、信州の女医・真知子に恋心を抱く。⁴⁰ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 満男、高校生に。³⁹ ● 寅次郎、少年の母を捜して、和歌山、吉野、伊勢・志摩へ。³⁹
<ul style="list-style-type: none"> ● ソウル・オリンピック開催。 ● リクルート事件。 ● 昭と天皇、御病状悪化す。 ● 横綱・千代の富士53連勝。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国鉄、分割・民営化でJRに。竹下内閣成立。 ● 衣笠祥雄、国民栄誉賞。
<ul style="list-style-type: none"> ● 35000円の名作ビデオ登場。 ● 渥美清、紫綬褒章を受ける。 ● 東八郎、宇野重吉、加藤嘉、中村勘三郎(十七代目)、小沢栄太郎、ゲルト・フレイベ、トレバール・ハワード、M・オークレール、J・ローガン没。 ■ 『ダウンタウンヒーローズ』公開。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 浩、亀井文夫、F・アステア、D・ケイ、R・スコット、リー・マーヴィン、リノ・ヴァレンチュラ、リタ・ハイワース、J・ヒューストン、M・ルロイ、D・サーク、B・フォッシー没。

S.62	S.61 (1986)	S.60 (1985)
<ul style="list-style-type: none"> ● おいちゃん、肺炎で入院。³⁸ ● 寅次郎、北海道・知床でやもめの恋をとirmつ。³⁸ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 寅さんご鼻唄の旅芸人一座・座長(中村菊之丞)死す。その娘・美保と福岡・飯塚で再会。³⁷ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 寅次郎、長崎・五島列島で老婆の死をみとる。³⁵ ● 朱美失踪、下田でつかまえた寅次郎、朱美と伊豆・式根島へ向かう。³⁶
<ul style="list-style-type: none"> ● 国鉄、分割・民営化でJRに。竹下内閣成立。 ● 衣笠祥雄、国民栄誉賞。 	<ul style="list-style-type: none"> ● フィリピンのマルコス政権崩壊す。 ● 三井物産マニラ支店長、誘拐事件。 ● チャールズ皇太子、ダイアナ妃来日。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 科学万博、筑波で開催。 ● 日航ジャンボ機、群馬山中に墜落。 ● 男女雇用機会均等法成立。 ● ソ連共産党書記長がM・ゴルバチョフに。 ● 阪神タイガース優勝。 ● 豊田商事事件。
<ul style="list-style-type: none"> ● 石原裕次郎死す。 ● 鶴田浩二、有島一郎、トニー谷、栗島すみ子、北上弥太郎、川口 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 『キネマの天地』公開。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第一回東京国際映画祭開催。 ● 宮口精二死す。 ● 笠置シズ子、小池朝雄、夏目雅子、大友柳太朗、天知茂、鈴木澄子、若山セツ子、鈴木傳明、永田雅一、加藤泰、浦山桐郎、牛原虚彦、渡辺祐介、O・ウエルズ、ユル・プリンナー、シモーン・シニョレ没。 ● 大映京都撮影所閉鎖す。 ● 吉田義夫、和田浩治、神田隆、小山田宗徳、古川勝巳、島耕二、J・キャグニー、S・ヘイドン、D・リード、O・プレミンジャー、ピンセント・ミネリ没。

H.6 (1994)	H.5 (1993)	H.4 (1992)
<ul style="list-style-type: none"> ● 満男、長浜在住の大学の先輩・信夫から妹の菜穂を紹介される。(17) ● 寅次郎、琵琶湖のほとりで典子と出会う。(17) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 就職活動中の満男が、博と喧嘩して家出。(46) ● 寅次郎、満男を探しに瀬戸内海の琴島に向き、満男が居候する家の娘・葉子に恋心を抱く。(46) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 寅次郎、宮崎で足をくじく。(45) ● 泉と満男、恋に終止符を打つ。(45)
<ul style="list-style-type: none"> ● 羽田孜内閣成立するも64日で退陣、村山富市内閣成立。 ● 関西国際空港開港。 ● 北海道東方沖地震。 ● 松本サリン事件。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 皇太子徳仁親王殿下・雅子様ご成婚。 ● 細川護熙連立内閣成立。 ● 北海道南西沖地震。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校の週休二日制が始まる。 ● 尾崎豊死去。 ● バルセロナ・オリンピック開催。
<ul style="list-style-type: none"> ● 片岡仁左衛門(十三代目)、東野英治郎、千田是也、乙羽信子没。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 笠智衆、マキノ雅弘、オードリー・ヘプバーン、リバー・フェニックス没。 ■ 『学校』公開。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 岡田嘉子、若山富三郎、太地喜和子、五社英雄、マレーネ・ディートリッヒ、アルレットイ、A・パーキンス没。

H.3 (1991)	H.2 (1990)	H.1 (1989)
<ul style="list-style-type: none"> ● 泉家出し、鳥取で寅次郎と会う。(44) ● 寅次郎、かつての想い人・聖子が未亡人となっていることを知る。(44) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 満男、大学に合格。(43) ● 寅次郎、泉の母・礼子に恋心を抱く。(43) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 寅次郎、初めての海外旅行でウイーンへ。(41) ● 浪人生活の満男、後輩の泉に恋をする。(42)
<ul style="list-style-type: none"> ● パブル経済の崩壊が始まる。 ● 中東・湾岸戦争。 ● 横綱・千代の富士引退。 ● 宮沢喜一内閣成立。 ● 東西ドイツ統合 	<ul style="list-style-type: none"> ● 即位の礼。 ● 名目GNP初の400億円突破。 ● 秋篠宮様・紀子様ご成婚。 ● ソ連・初代大統領ゴルバチョフ選出。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 宇野宗佑内閣成立。 ● 皇太子明仁親王殿下、新天皇に即位。新元号、平成。 ● 昭和三十八崩御。 ● 皇太子明仁親王殿下、新天皇に即位。新元号、平成。 ● 宇野宗佑内閣成立。 ● 海部俊樹内閣成立。
<ul style="list-style-type: none"> ● 松山英太郎、上原謙、ジーン・アサー、F・キャブラ、D・リン没。 ■ 『息子』公開。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ソニーの米コロンビア買収、松下電器産業の米MCA買収。 ● 成田三樹夫、藤山寛美、高峰三枝子、小暮実千代、初井言榮、グレタ・ガルボ、サミー・デイヴィス・Jr、レックス・ハリソン、アイリーン・タン没。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 殿山泰司、辰巳柳太郎、浦辺粂子、松田優作、ローレンス・オリビエ、ベディ・デイヴィス没。

H.31、R.1 (2019)	H.30 (2018)
<p>●小説家になった満男、著書のサイン会で泉と再会する。⁵⁰</p>	
<p>●皇太子・徳仁親王殿下、新天皇即位。新元号、令和。 ●ラグビーワールドカップ日本開催。</p>	<p>●北海道胆振東部地震。</p>
<p>●市原悦子、佐々木すみ江、内田裕也、萩原健一、京マチ子、八千草薫、佐藤純彌、降旗康男没。 ■12月27日、『男はつらいよ お帰り寅さん』公開。</p>	<p>●夏木陽介、大杉漣、左とん平、朝丘雪路、西城秀樹、星由里子、加藤剛、津川雅彦、菅井きん、樹木希林、角替和枝、赤城春恵、浅利慶太、高畑勲没。 ■『妻よ薔薇のように』『家族はつらいよ』公開。</p>

H.30 (2018)	H.8 (1996)	H.7 (1995)
<p>●冬季オリンピック平昌大会開催。 ●西日本豪雨で、死者220人を超える。</p>	<p>●橋本龍太郎内閣成立。 ●在ベルー日本大使公邸人質事件。</p>	<p>●寅次郎、震災時に神戸におり、ボランティアをする。⁴⁸ ●満男、泉の結婚式を妨害し、中止に追い込んでしまう。⁴⁸ ●寅次郎、奄美大島のリリーの家に居候。満男と再会。⁴⁸ ●満男、泉に愛を告白する。⁴⁴</p>
<p>●『男はつらいよ』50作目に当たる新作映画を製作し、2019年公開することが発表される。</p>	<p>●阪神・淡路大震災。 ●東京都知事・青島幸男、大阪府知事・横山ノック就任。 ●東京地下鉄サリン事件。オウム真理教強制捜査。</p>	<p>●渥美清、死す。 ●嵐芳三郎(六代目)、小林昭二、沢村貞子、ジーン・ケリー、マルチエロ・マストロヤンニ没。</p>
	<p>■『学校II』『虹をつかむ男』公開。</p>	<p>●神代辰巳、佐藤肇、尾上梅幸(七代目)、岡田英次、川谷拓三、ゲイリー・クロスビー没。</p>

制作協力・写真提供——松竹株式会社

編集協力——武藤郁子

本文デザイン——諸橋藍

PHP文庫 男はつらいよ 寅さんの人生語録 改

2019年12月13日 第1版第1刷

作者 山田洋次
朝間義隆
編者 寅さん倶楽部
発行者 後藤淳一
発行所 株式会社PHP研究所
東京本部 〒135-8137 江東区豊洲5-6-52
——PHP文庫出版部 ☎03-3520-9617(編集)
普及部 ☎03-3520-9630(販売)
京都本部 〒600-9411 京都市南区西九条北ノ内町11

PHP INTERFACE <http://www.php.co.jp/>

印刷所 令和元年 株式会社
製本所

© SHOGAKUKU 2019 Printed in Japan ISBN 978-4-569-76979-0

※本書の無断複製(コピー・スキャン・デジタル化等)は著作権法で認められた場合を除き、禁じられています。また、本書を代行業者等に依頼してスキャンやデジタル化することは、いかなる場合でも認められておりません。

※落丁・乱丁本の場合は弊社制作管理部(☎03-3520-9626)へご連絡下さい。

送料弊社負担にてお取り替えいたします。

作者紹介

山田洋次 (やまだ ようじ)

1931年大阪府生まれ。東京大学を卒業後、松竹入社。『二階の他人』で監督デビュー。1969年『男はつらいよ』シリーズ開始。他に代表作として『家族』、『故郷』、『同胞』、『幸福の黄色いハンカチ』、『息子』、『学校』、『たそがれ清兵衛』、『家族はつらいよ』など多数ある。96年に紫綬褒章・朝日賞、2002年に勲四等旭日小綬章、04年に文化功労者、12年に文化勲章受章。

朝間義隆 (あさま よしたか)

1940年宮城県生まれ。上智大学を卒業後、松竹に入社。第7作以降、山田洋次監督と共に『男はつらいよ』シリーズの脚本を手掛ける。『遙かなる山の呼び声』、『同胞』、『幸福の黄色いハンカチ』、『たそがれ清兵衛』などでも山田監督と共同で脚本を担当。『幸福の黄色いハンカチ』で第51回キネマ旬報脚本賞、第1回日本アカデミー賞最優秀脚本賞、『たそがれ清兵衛』で第26回日本アカデミー賞最優秀脚本賞を受賞。

共同脚本

【第1作】森崎 東

【第2、3作】小林俊一

【第2、3、4、5、6、11作】宮崎 晃

【第24作】栗山富夫

※この作品には、現在では差別的とされる表現を含む箇所も一部ありますが、放映された時代をうつす言葉と考え、そのまま掲載しました。

本書は、1993年12月にPHP文庫として刊行された『男はつらいよ 寅さんの人生語録』を改題し、加筆・修正・再編集したものである。